

マトリックス スイッチャ MSW-3216A NTSC

概要

本機は、32 入力・16 出力のマトリックス スイッチャです。
各入力を任意の出力に割り当て効率の良い監視をおこなうための映像切換え機です。
遠隔地からイーサネットを経由して入出力の割り当てや、各種設定をおこなうことができます。

特長

- 映像信号専用のマトリックス スイッチャです。
- 1～16 の出力に 1～32 の入力を任意に割り当てることができます。
- フロント ボタンで出力←入力の割り当てができます。
- 出力←入力の割り当ては 64 パターン プリセットできます。
- 1 つの出力に 1～32 の入力を自動切換え表示することができます。
- 自動切換え表示は 64 パターン プリセットできます。
- メニューで操作・設定・入出力の状態確認等ができます。
- 専用ソフト(Windows 用)で操作・設定・入出力の状態確認等ができます。
- 各カメラ入力 1～32 に最長 14 文字のタイトルを設定できます。
- タイトルは、JIS 第一,第二水準,拡張文字の 7,320 文字より選択できます。(JIS X0208-1990)
- 内蔵フォントは 22×22 ドット,ゴシック体,文字色は白で黒の縁取りです。
- 日時を画面に表示できます。
- 32 系統のセンサ入力端子を任意のカメラ入力に設定して、アラーム動作をおこないます。
- センサ入力時に映像出力 1～4 のアラーム動作と、O.C.またはリレーの信号を出力します。
- センサ入力された履歴を 960 件まで記録できます。
- RS-232C や RS-485 による操作が可能です。
- LAN やイーサネットによる操作が可能です。
- 不正操作を防止するパスワードによるロック機能を備えています。
- EIA/JIS の 19 インチ ラック マウントが可能です。(取付金具は別売品)

目次

安全上のご注意	3	メニューと専用ソフトの使い分け	22
各部の名称とはたらき	6	メニュー設定	23
■前面部	6	■入出力の状態画面	23
■背面部	6	■メニューの操作方法	23
システムの種類	7	1.OUTPUT SET	24
シリアル通信(RS-232C)の準備	8	1-1.OUTPUT SET FREE	24
■接続例	8	2.OUTPUT PATTERN	24
■メニューの設定	9	3.SEQUENCE PATTERN	25
■専用ソフトの設定	9	4.ALARM	25
■RS-232C ピン アサイン(参考)	9	4-1.EVENT LIST	25
シリアル通信(RS-485)の準備	10	4-1-1.件数	25
■接続例	10	4-1-2.アラーム履歴	25
■メニューの設定	10	4-2.EVENT LIST ERASE	26
■専用ソフトの設定	11	4-3.INPUT	27
イーサネット経由の準備	12	4-3-1.POLARITY	27
■クライアント/サーバー	12	4-3-2.CHANNEL SELECT	27
■システム例	12	4-4.MONITOR OUTPUT	28
■メニューの設定	12	4-5.SIGNAL OUTPUT	28
■専用ソフトの設定	14	4-6.DURATION TIME	29
SENSOR コネクタの接続例	15	4-7.DISPLAY	29
■SENSOR IN コネクタ	15	4-8.BUZZER OUT	29
■SENSOR OUT コネクタ	16	4-9.RETURN	29
日時の調整	17	5.TIME SIGNAL	30
出力:入力 割り当ての概要と例	18	5-1.30SEC.ADJUST	30
■フロント ボタンで割り当てる	18	5-2.CLOCK ADJUST	30
■本体メニューで割り当てる	18	5-3.INPUT CHANNEL	30
■専用ソフトで割り当てる	18	5-4.OUTPUT CHANNEL	30
■プリセットする	19	5-5.DISPLAY RANGE	31
基本動作	20	5-6.DISPLAY SIZE	31
■電源立上げ	20	6.TITLE	31
■デフォルト セット	20	6-1.POSITION	31
■メニュー、メッセージの表示画面	20	6-2.INPUT CHANNEL	32
■フロント ボタンで出力に inputs を割り当てる	20	6-3.OUTPUT CHANNEL	32
■アラーム動作	21	6-4.TOP ADJUST	32
■パスワードによるロック	22	6-5.BOTTOM ADJUST	32
		7.PASSWORD	33
		7-1.OPERATION	33
		7-1.MENU	33
		7-1.NUMBER	33
		8.SERIAL INTERFACE	33
		8-1.SLAVE ADDRESS	33
		8-2.DATA RATE	33
		8-3.PARITY	33
		8-4.STOP BIT	33
		8-5.DATA LENGTH	33
		9.ETHERNET	34
		9-1.IP ADDR	34
		9-2.GATEWAY	34
		9-3.ACTIVE	34
		9-4.SUBNET MASK	34
		9-5.PORT NUMBER	34
		9-6.CONNECTION TRY	34
		9-7.MAINTENANCE	35
		9-7-1.KEEP ALIVE	35
		9-7-2.TIME REGISTER	35
		9-7-3.MAC	35

目次

専用ソフトの準備	36
■ダウンロード	36
■インストール方法	36
■起動画面	36
■ファイル	36
■モデルの選択	36
■インターフェイス	37
●インターフェイスの設定	38
●シリアル通信の設定	38
●クライアント/サーバー	38
●TCP/IP の設定	39
専用ソフトの操作方法	40
■設定	40
●MSW の設定	40
1.アウトプット パターン	40
1-1.Free	40
1-2.プリセット	40
2.シーケンス パターン	41
3.タイトル	41
4.入力タイトル表示	41
5.出力タイトル表示	42
6.タイトル表示位置	42
7.入力日時表示	42
8.出力日時表示	43
9.日時表示	43
10.タイトル表示位置微調整	44
11.アラーム	44
12.アラーム入力	45
13.アラーム出力	45
14.アラーム端子	46
15.パスワード	47
●全項目の設定	47
●メンテナンス(設定項目の読み込み)	47
●スレーブ アドレス	47
■状態	48
ラック マウント方法	48
製品仕様	49
故障かなと思う前に…	50
品質保証規定	50
おことわり	50
必要なシステム構成	50

安全に正しくお使いいただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

■絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

	△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

 警告	
●本機のケース・裏パネル等はずさない！ 内部には高圧の部分があり、感電の原因となります。 ・改造などは絶対におこなわないでください。 ・内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。	 
●本機を濡らさない！ 火災・感電の原因となります。 ・雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。 ・風呂・シャワー室などの水場では使用しないでください。 ・本機の上に水などの入った容器を置かないでください。 ・万一水などが中に入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。	  
●本機の開口部から金属物や燃えやすいものなどの異物を差し込まない！ 万一異物が入ったときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。 そのままで使用すると火災・感電の原因となります。	 
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない！ 感電の原因となることがあります。	
●電源プラグやコンセントにほこりなどを付着させない！ ほこりによりショートや発熱が起こって火災の原因となります。湿度の高い部屋、結露しやすいところ、台所やほこりがたまりやすい場所のコンセントを使っている場合は、特に注意してください。	
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない！ コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。	
●雷が鳴り出したら使わない！ 電源プラグや接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因となります。	
●アース線を接地する 感電を避けるためにかならず接地をしてください。アース線は絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因となります。	



警告

- 電源電圧 100V±10%以外の電圧で使用しない！
火災・感電の原因となります。



- 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- 本機が故障した場合、落としたりケースが破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く！
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。



- 移動させる場合は、かならず電源スイッチを切り、プラグを抜き、機器間の接続ケーブルをはさす！
コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



- 長期間使用しないときは、安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜く！
火災の原因となることがあります。



注意

- 本機の上にものを置かない！
バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。
また、重みによって故障の原因となることがあります。



- コード類は正しく配線する！
 - ・電源コードを熱器具に近づけないでください。
 - ・電源コードを本機の下敷きにしないでください。
 - ・足などにケーブルを引っかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。



- 設置場所にご注意ください！
 - ・不安定な場所に置かないでください。
 - ・磁気を発生する機器の近くに置かないでください。
 - ・直射日光のあたるところや熱器具の近くに置かないでください。
 - ・冷凍倉庫や外気にさらされるなど、温度変化の激しいところには置かないでください。
 - ・振動や衝撃の加わるところには置かないでください。
 - ・腐食性ガスのあたるところには置かないでください。
 - ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湿気があたるところには置かないでください。



- 本機の通風孔をふさがない！
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
壁から 10cm 以上離して設置してください。また、次のような使いかたはしないでください。
 - ・本機を仰向けや横倒し、逆さまにする。
 - ・風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - ・じゅうたんや布団の上に置く。
 - ・テーブルクロスなどをかける。



■定期点検とお手入れについて

※お手入れの際は安全のため、電源スイッチを切り、電源コードのプラグを抜いてからおこなってください。

**注意****●電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)場合は交換を依頼する！**

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店に交換をご依頼ください。

●内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。

機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災・故障の原因となることがあります。

●電源プラグの掃除をしてください

電源プラグを長時間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。

年に一度くらいは、プラグを抜いてほこりを取ってください。

●カバーは乾いた布で拭いてください

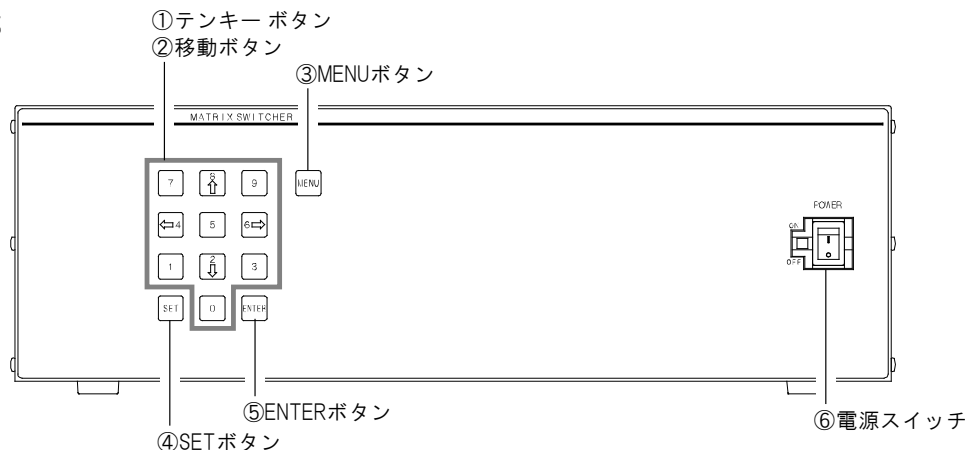
汚れがひどいときは、うすめの中性洗剤液を浸しよく絞った布で拭き取ってから、から拭きしてください。

このとき、液が内部に入らないように注意してください。

ベンジン、シンナー、アルコールなどの液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使用しないでください。

各部の名称とはたらき

■前面部



①テンキー ボタン 0～9

出力と入力の割り当てを手動設定するときに、出力と入力の数字入力に使用します。

例：映像出力 2 にカメラ入力 5 を割り当てる場合

0+2+SET+0+5+ENTER

この割り当て操作はボタンを押すたびに「ピッ」という音が鳴ります。

②移動ボタン(←,→,↑,↓)

メニュー表示中に、設定値の変更、点滅の移動、ページの変更などに使用します。

③MENU ボタン

入出力の状態画面とメニューを表示/非表示します。
(映像出力 1 のみ)

④SET ボタン

①の例で示したとおり、出力と入力の割り当てを手動設定するときに使用します。

⑤ENTER ボタン

(1)メニュー表示中に、設定値の決定、点滅位置の決定に使用します。

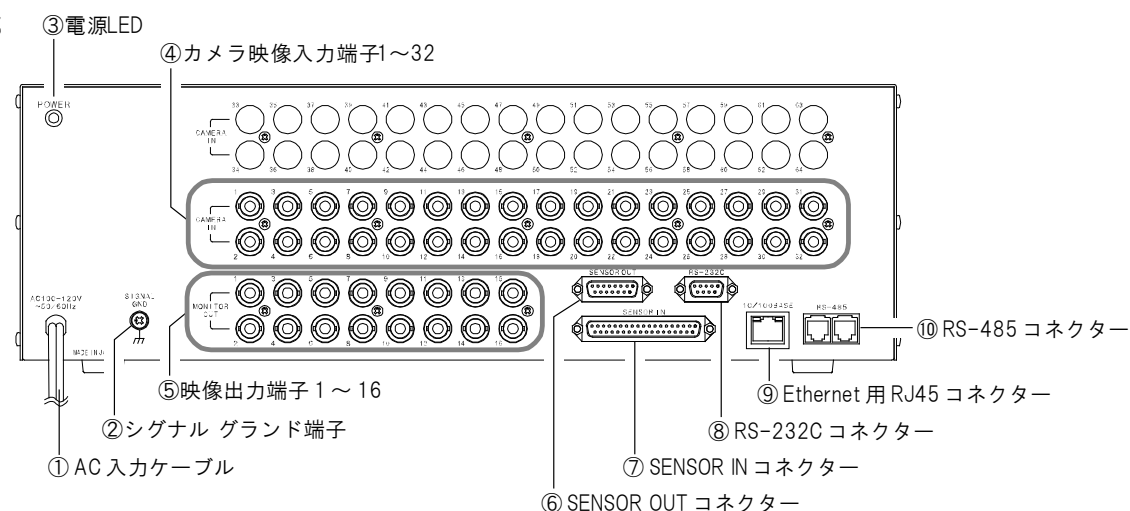
(2)入出力の状態を表示中に、ENTER ボタンを押すと、MAIN MENU が表示されます。

(3)①の例で示したとおり、出力と入力の割り当てを手動設定するときに使用します。

⑥電源スイッチ

本機の電源を ON/OFF します。ON にすると LED が点灯します。

■背面部



①AC 入力ケーブル

AC100V 50/60Hz のコンセントに接続してください。

②シグナル グランド端子

信号用接地端子です。機器間相互のグランドを取るために接続してください。

※他のネジに付け替えないでください。

③電源 LED

電源を ON にすると LED が点灯します。

④カメラ映像入力端子 1～32

TV カメラの映像信号(32 入力)を入力してください。(75Ω 終端)

⑤映像出力端子 1～16

TV モニター等の映像入力端子へ接続してください。(75Ω 終端)メニューは端子 1 から出力した映像にのみ表示します。出力端子 1 からはかならず映像を出力してください。

⑥SENSOR OUT コネクター(D-Sub15 ピン メス)

アラーム動作時にメイク接点信号を出力します。オープン コレクタ 5 系統、リレー 1 系統です。

(インチネジ#4-40UNC)

⑦SENSOR IN コネクター(D-Sub37 ピン メス)

センサ信号を入力します。(インチネジ#4-40UNC)

⑧RS-232C コネクター(D-Sub9 ピン・オス)

本体と専用ソフトで送受信します。
(クロスケーブル使用、インチネジ#4-40UNC)

⑨Ethernet 用 RJ45 コネクター

遠隔操作をするとき信号を入出力します。

⑩RS-485 コネクター

リモート制御などに使用します。(ループ スルー)
(Half Duplex)6 極 4 芯 RJ11 ストレート ケーブル 使用

システムの種類

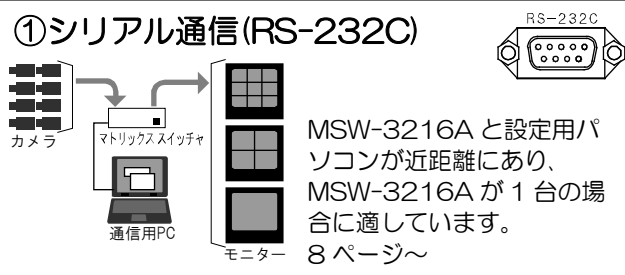
本機はシリアル通信 (RS-232C, RS-485) またはインターネット通信 (Ethernet) により様々な使用形態があります。

使用目的に合わせてシステムを構築していただくことにより、一層効果的にご活用いただくことができます。

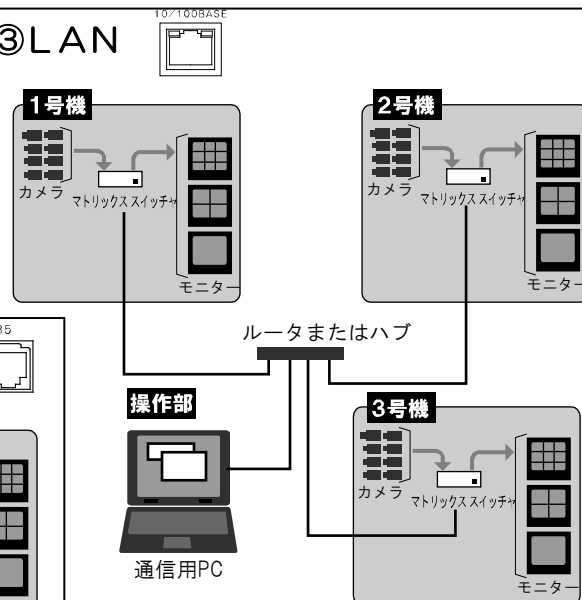
補足(クライアントとサーバーについて)

- クライアントは、ソケット接続が確立するまでサーバーに対し要求を続けます。
- サーバーは、クライアントからのソケット接続要求をリスン状態で待機します。

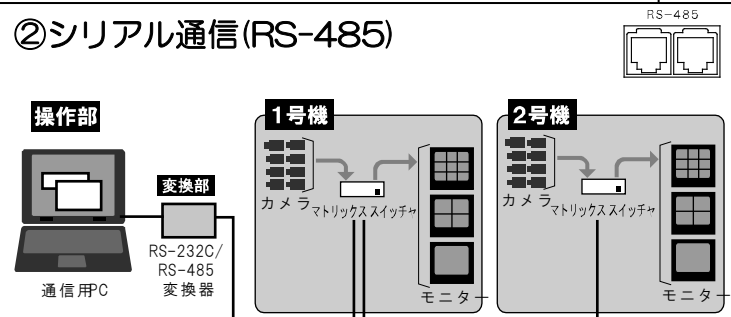
①シリアル通信(RS-232C)



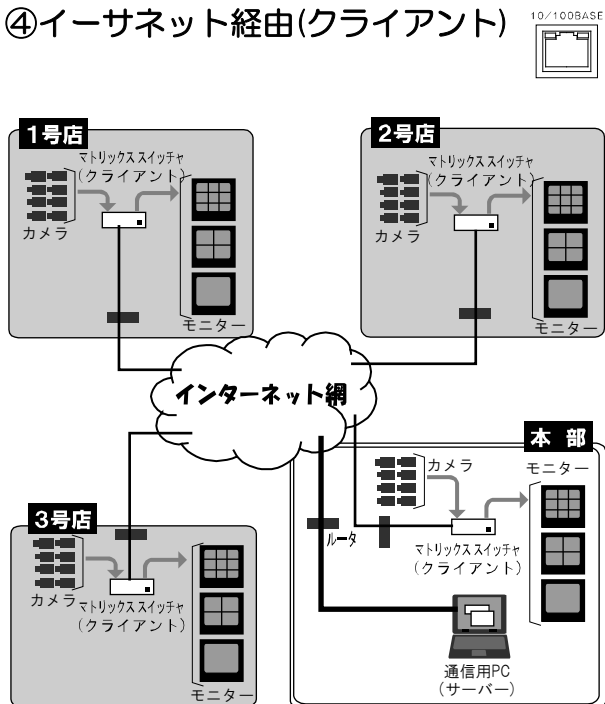
③LAN



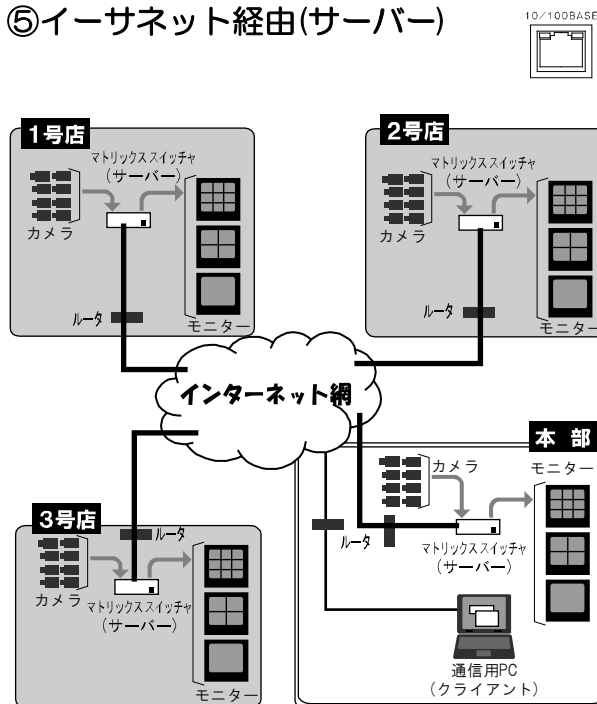
②シリアル通信(RS-485)



④イーサネット経由(クライアント)

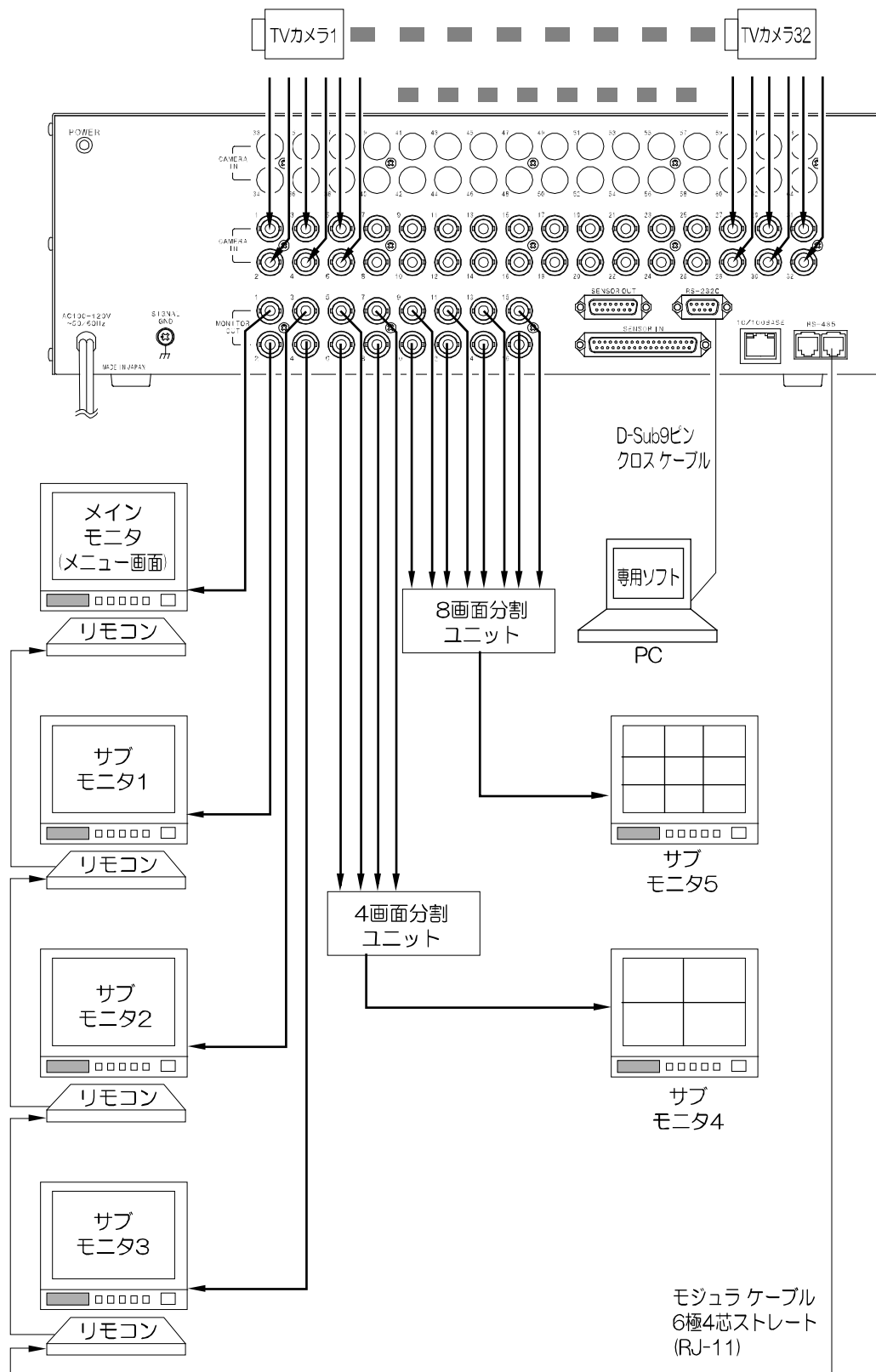


⑤イーサネット経由(サーバー)



シリアル通信(RS-232C)の準備

■接続例



注意

- 電源は全ての接続が終わってからつないでください。
- 電源をつなぐ前には必ずコンセントの電圧を確認してください。
- 本機の各映像、および出力端子には電圧を加えないでください。
- シグナル グランド端子は、備え付けのネジを使用し、他のネジに付け替えないでください。
- RS-485 通信, RS-232C 通信, イーサネット通信は同時に使用できません。
- パソコンと RS-232C コネクターの接続にはクロス ケーブルを使用してください。

シリアル通信(RS-232C)の準備

■メニューの設定

最初に映像を表示させたとき、またご使用の途中など、画面の日時表示を確認するようにしてください。
現在の日時と合っていれば、そのままお使いになれます。

日時の調整が必要な場合は、17 ページ **日時の調整** を参照し、MSW-3216A の日時を調整してください。

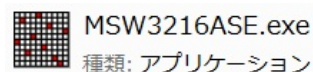
注意 ●メニューは映像出力端子 1 (MONITOR OUT1)のみ表示されます。
映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください。

専用ソフトを使用する場合は、次項の**専用ソフトの設定**をおこなってください。

専用ソフトを使用しない場合は、18 ページ **出力:入力 割り当ての概要と例**、または 20 ページ **基本動作**を参照し操作してください。

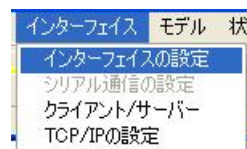
■専用ソフトの設定

①MSW3216ASE.exe をダウンロードし、パソコンに保存してください。
(36 ページ **専用ソフトの準備** 参照)



②MSW3216ASE.exe をダブルクリックして起動させます。

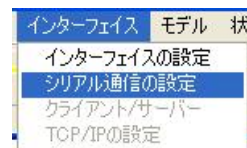
③メニューバー “インターフェイス” のプルダウン リストから “インターフェイスの設定” を選択してクリックします。



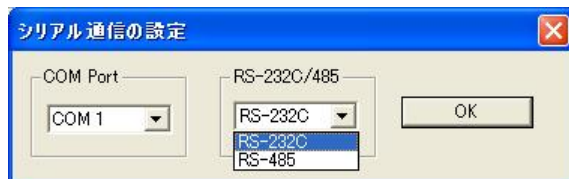
④インターフェイスの設定ダイアログで “シリアル通信” を選択して、OK ボタンをクリックします。



⑤メニューバー “インターフェイス” のプルダウン リストから “シリアル通信の設定” を選択してクリックします。



⑥シリアル通信の設定ダイアログで “RS-232C/485” に “RS-232C” を選択して OK ボタンをクリックします。
(“COM Port” は必要に応じて変更してください。)



以上で準備は完了です。

40 ページ～ **専用ソフトの操作方法**にしたがい、操作してください。

■RS-232C ピン アサイン(参考)

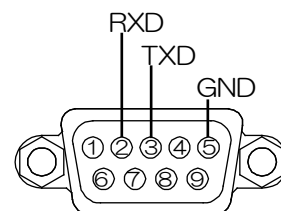
本機の RS-232C は三線式(RXD, TXD, GND)で、フロー制御をしていません。

RS-232C/RS-485/LAN コマンド表は、アルテックス WEB サイトよりダウンロードできますのでご利用ください。

http://www.n-artics.co.jp/d_load/d_load.htm

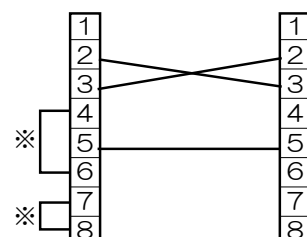
※フロー制御が必要な場合は PC(コントローラー)側の

④ー⑥, ⑦ー⑧を短絡してください。



D-Sub9 ピン(オス)

PC(コントローラー)側 機器側



シリアル通信(RS-485)の準備

■接続例

●概要

- 注意
- 電源をつなぐ前には必ずコンセントの電圧を確認してください。
 - 各映像入出力端子には電圧を加えないでください。
 - RS-485 通信を使用時は RS-232C 通信、イーサネット通信は使用できません。
 - カスケード接続内に本機以外の機器があるときは一斉送信ができません。
 - 一斉送信時はアンサーバックがありません。

本機の RS-485 は半二重通信(Half Duplex)方式です。

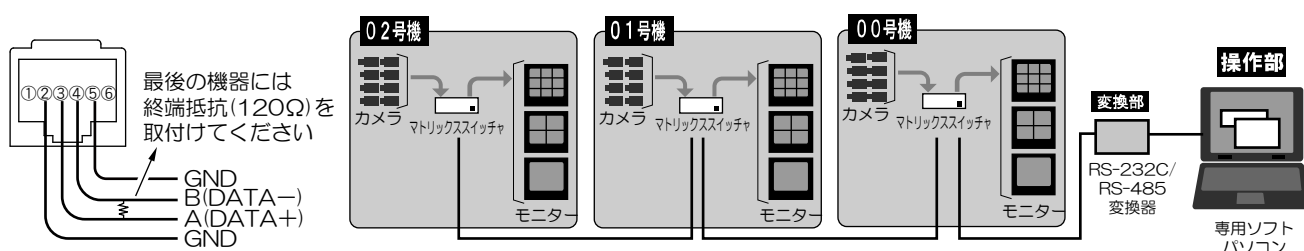
接続前にあらかじめ各機の号機(00~31)を設定してください。(次ページ 参照)

31 号機までカスケード接続できます。モジュラー ケーブル(ストレート)は全長 1.2km まで通信可能です。

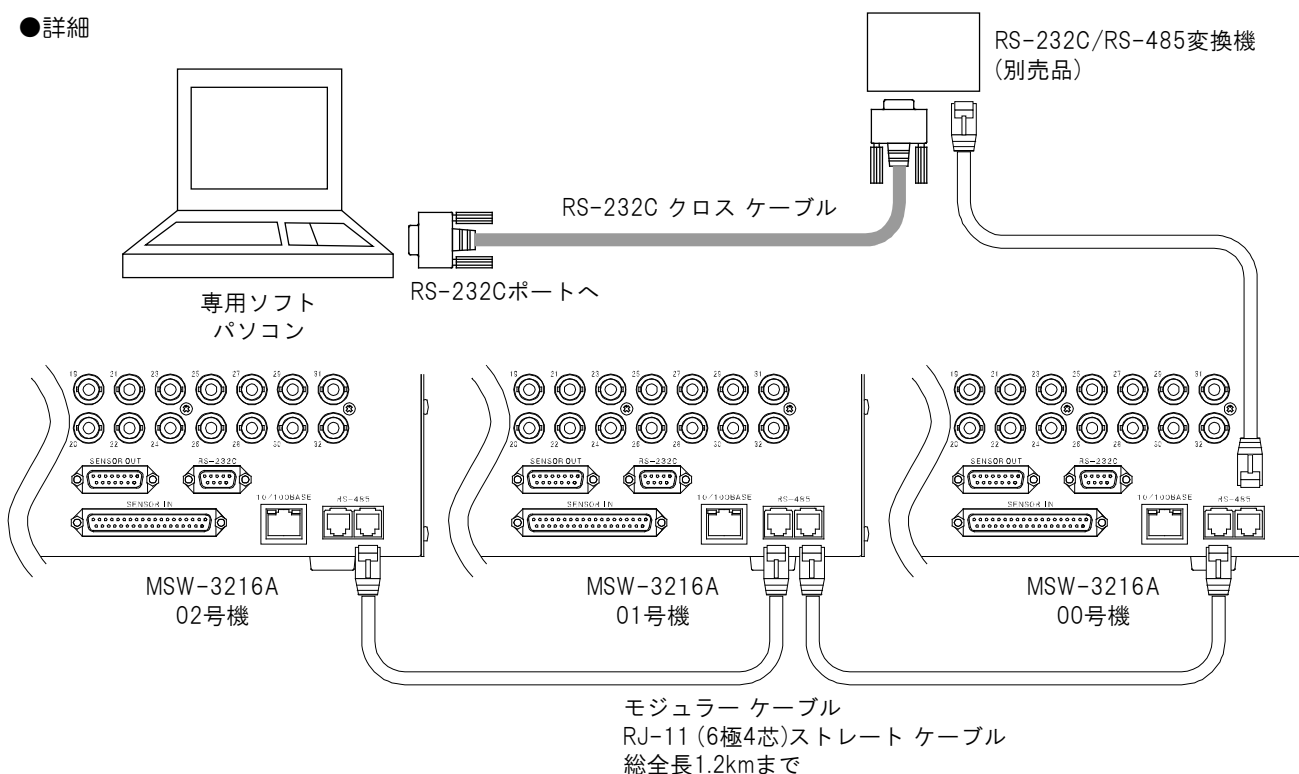
下図のように終端抵抗を取付けてください。

RS-485 ドライバーより号機を指定して信号を送信します。

号機を“FF”として送信するとブロードキャスト(一斉送信)となります。



●詳細



■メニューの設定

- 注意
- メニューは映像出力端子 1 (MONITOR OUT1)のみ表示されます。映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください。

●日時の確認

最初に映像を表示させたとき、またご使用の途中など、画面の日時表示を確認するようにしてください。現在の日時と合っていれば、そのままお使いになれます。

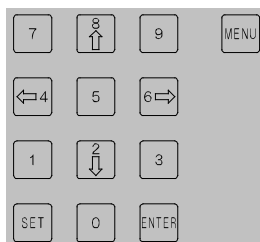
日時の調整が必要な場合は、17 ページ **日時の調整** を参照し、MSW-3216A の日時を調整してください。

シリアル通信(RS-485)の準備

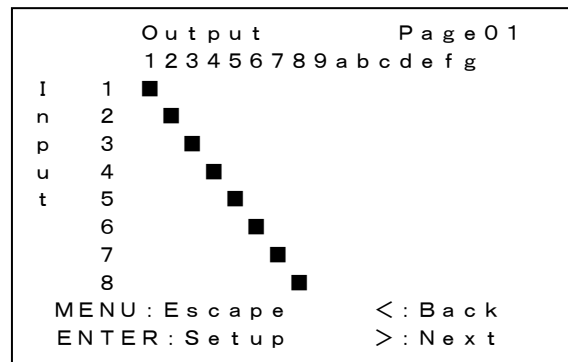
●スレーブ アドレス(号機)の設定

各 MSW-3216A ごとにメニューで号機を設定します。

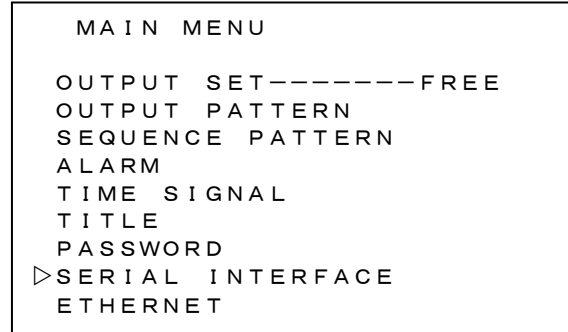
- ①出力 1 の画面を見ながら、前面の MENU ボタンを押します。



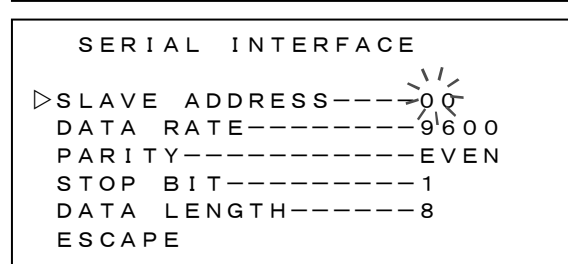
- ②入出力の状態画面(右図)が表示されたら ENTER ボタンを押します。



- ③MAIN MENU(右図)が表示されたら、↑,↓ボタンでカーソル(▷)を“SERIAL INTERFACE”に合わせ、ENTER ボタンを押します。



- ④SERIAL INTERFACE 画面(右図)が表示されたら、↑,↓ボタンでカーソル(▷)を“SLAVE ADDRESS”に合わせ、ENTER ボタンを押します。

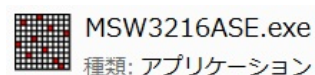


- ⑤設定値が点滅するので、↑,↓ボタンで号機(00～31)を設定し、ENTER ボタンで決定します。

※他の MSW-3216A も同様に①～⑤の手順で号機を設定してください。

■専用ソフトの設定

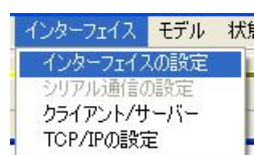
- ①MSW3216ASE.exe をパソコンに保存してください。
(36 ページ 専用ソフトの準備 参照)



MSW3216ASE.exe
種類: アプリケーション

- ②MSW3216ASE.exe をダブルクリックして起動させます。

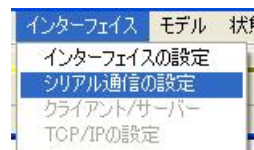
- ③メニューバー“インターフェイス”のプルダウン リストから“インターフェイスの設定”を選択してクリックします。



- ④インターフェイスの設定ダイアログで“シリアル通信”を選択して、OK ボタンをクリックします。

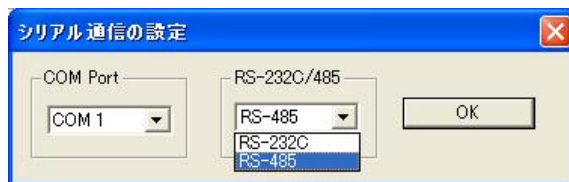


- ⑤メニューバー“インターフェイス”のプルダウン リストから“シリアル通信の設定”を選択してクリックします。



シリアル通信(RS-485)の準備

⑥シリアル通信の設定ダイアログで“RS-232C/485”には“RS-485”を選択してOK ボタンをクリックします。
(“COM Port” は必要に応じて変更してください。)
この操作により各設定画面の“Slave address” の項目が有効になります。



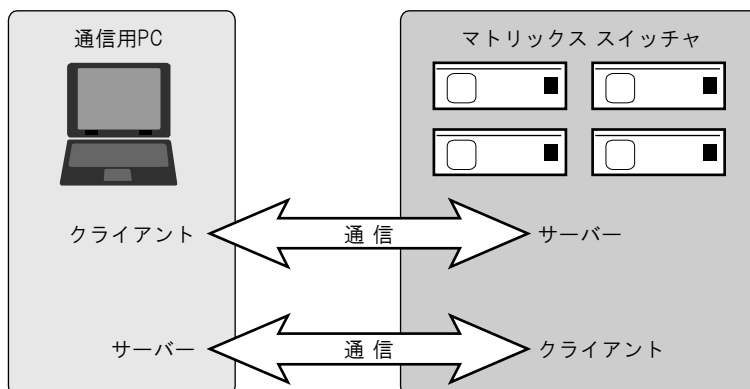
以上で準備は完了です。40 ページ 専用ソフトの操作方法にしたがい、操作してください。
ただし、設定をおこなう都度、“Slave address” を指定してください。

イーサネット経由の準備

■クライアント/サーバー

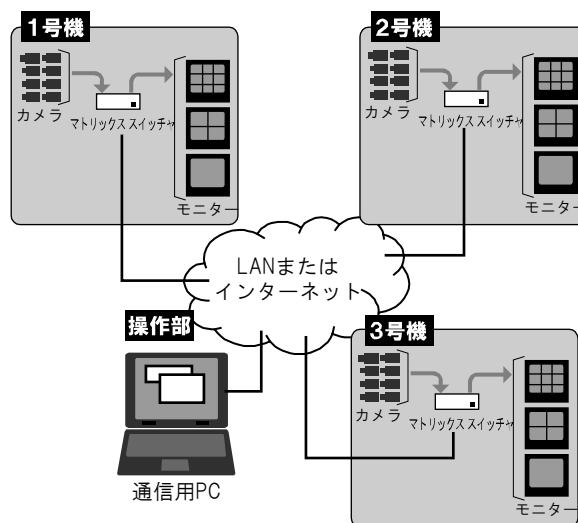
最初にマトリックス スイッチャと通信用 PC のパソコンに対して、それぞれ**クライアント/サーバー**の役割をかならず決めてください。
メニューの設定と専用ソフトの設定でクライアント/サーバーを設定するので、かならず役割を記録しておいてください。

- クライアントは、ソケット接続が確立するまでサーバーに対し要求を続けます。
- サーバーは、クライアントからのソケット接続要求をリスン状態で待機します。



■システム例

※カメラとモニターの接続例の詳細は 8 ページを参照してください。



■メニューの設定

注意 ●メニューは映像出力端子 1 (MONITOR OUT 1) のみ表示されます。
映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください。

●日時の確認

最初に映像を表示させたとき、またご使用の途中など、画面の日時表示を確認するようにしてください。
現在の日時と合っていれば、そのままお使いになれます。

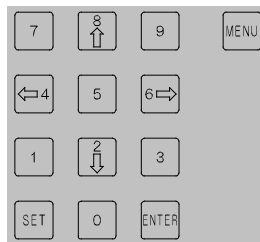
日時の調整が必要な場合は、17 ページ 日時の調整 を参照し、MSW-3216A の日時を調整してください。

イーサネット経路の準備

●イーサネットの設定

各 MSW-3216A ごとにメニューで号機を設定します。

- ①出力 1 の画面を見ながら、前面の MENU ボタンを押します。



- ②入出力の状態画面(右図)が表示されたら ENTER ボタンを押します。

		Output										Page 01					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	a	b	c	d	e	f	g
Input	1	■															
	2		■														
	3			■													
	4				■												
	5					■											
	6						■										
	7							■									
	8								■								
MENU : Escape												< : Back					
ENTER : Setup												> : Next					

- ③MAIN MENU(右図)が表示されたら、↑,↓ボタンでカーソル(▷)を“ETHERNET”に合わせ、ENTER ボタンを押します。

```

MAIN MENU

OUTPUT SET-----FREE
OUTPUT PATTERN
SEQUENCE PATTERN
ALARM
TIME SIGNAL
TITLE
PASSWORD
SERIAL INTERFACE
▷ETHERNET
    
```

- ④ETHERNET 画面(右図)が表示されたら、各値を設定します。
アドレスを設定するときは、←,→ボタンで点滅を移動させ、↑,↓ボタンで値を変更させます。(0~9 のテンキーでは入力できません)

```

ETHERNET

▷IP ADDR-192. 168. 001. 003
GATEWAY-192. 168. 001. 020
ACTIVE--000. 000. 000. 000
SUBNET MASK-----C
                255. 255. 255. 000
PORT NUMBER-----10001
CONNECTION TRY---OFF
MAINTENANCE
ESCAPE
    
```

IP ADDR

各 MSW-3216A に割り当てられたローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。

GATEWAY

●MSW-3216A 本体をクライアントとして使用する場合には、属する LAN のデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。

●MSW-3216A 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

ACTIVE

●MSW-3216A 本体をクライアントとして使用する場合には、通信先の IP アドレスを設定します。

●MSW-3216A 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

SUBNET MASK

サブネット マスクを設定します。

ほとんどの場合、工場出荷時のクラス “C” のままご使用いただけます。

PORT NUMBER

各 MSW-3216A と専用ソフト用のパソコンに共通のポート番号を任意で決めて設定します。

CONNECTION TRY

各 MSW-3216A のクライアント/サーバーを設定します。

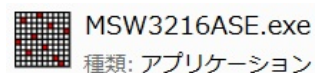
値	動作
OFF	サーバーとして使用
ON	クライアントとして使用

※他の MSW-3216A も同様に①~④の手順で Ethernet を設定してください。

イーサネット経由の準備

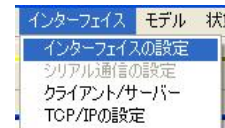
■専用ソフトの設定

- ①MSW3216ASE.exe をパソコンに保存してください。
(36 ページ 専用ソフトの準備 参照)



- ②MSW3216ASE.exe をダブルクリックして起動させます。

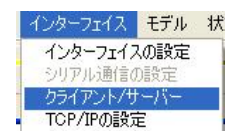
- ③メニューバー “インターフェイス” のプルダウン リストから “インターフェイスの設定” を選択してクリックします。



- ④インターフェイスの設定ダイアログで “TCP/IP” を選択して、OK ボタンをクリックします。



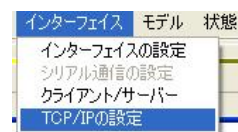
- ⑤メニューバー “通信” のプルダウン リストから “クライアント/サーバー” を選択してクリックします。



- ⑥クライアント/サーバーの設定ダイアログで専用ソフトの役割を選択します。
MSW-3216A 本体がサーバーなら専用ソフトは “Client”、MSW-3216A 本体がクライアントなら専用ソフトは “Server” を選択してください。



- ⑦メニューバー “インターフェイス” のプルダウン リストから “TCP/IP の設定” を選択してクリックします。

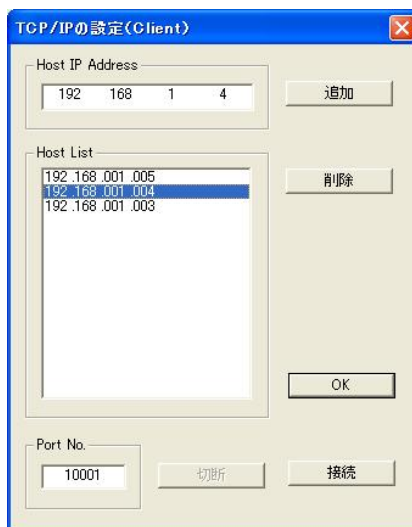


- ⑧TCP/IP の設定ダイアログで “Port No.” に各 MSW-3216A と専用ソフト用のパソコンに共通の通信ポート番号を入力します。

※⑥で Client を選択したとき

“Host IP Address” に各 MSW-3216A の IP アドレスを入力して追加ボタンをクリックします。
“Host List” に追加したアドレスが表示されます。

“Host List” から接続したい MSW-3216A の IP アドレスをダブルクリックして “Host IP Address” に入力し、“接続” ボタンをクリックします。



※⑥で Server を選択したとき

“接続” ボタンをクリックするとインターネットに接続し、“Client List” に各 MSW-3216A の IP アドレスが表示されます。
Client List の中から接続したい MSW-3216A の IP アドレスをダブルクリックすると
“Transmission place” に IP アドレスが入力されます。

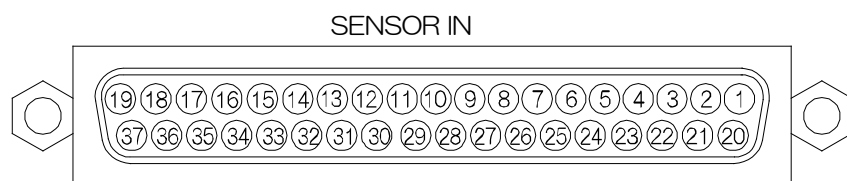


- ⑨他の MSW-3216A と接続するときは、“切断” ボタンをクリックしてから、⑧の設定をします。

以上で準備は完了です。40 ページ 専用ソフトの操作方法にしたがい、操作してください。

SENSOR コネクターの接続例

■SENSOR IN コネクター



●各ピンの動作表

PIN	動作
1	センサ入力 1
2	センサ入力 2
3	センサ入力 3
4	センサ入力 4
5	センサ入力 5
6	センサ入力 6
7	センサ入力 7
8	センサ入力 8
9	COMMON
10	センサ入力 9
11	センサ入力 10
12	センサ入力 11

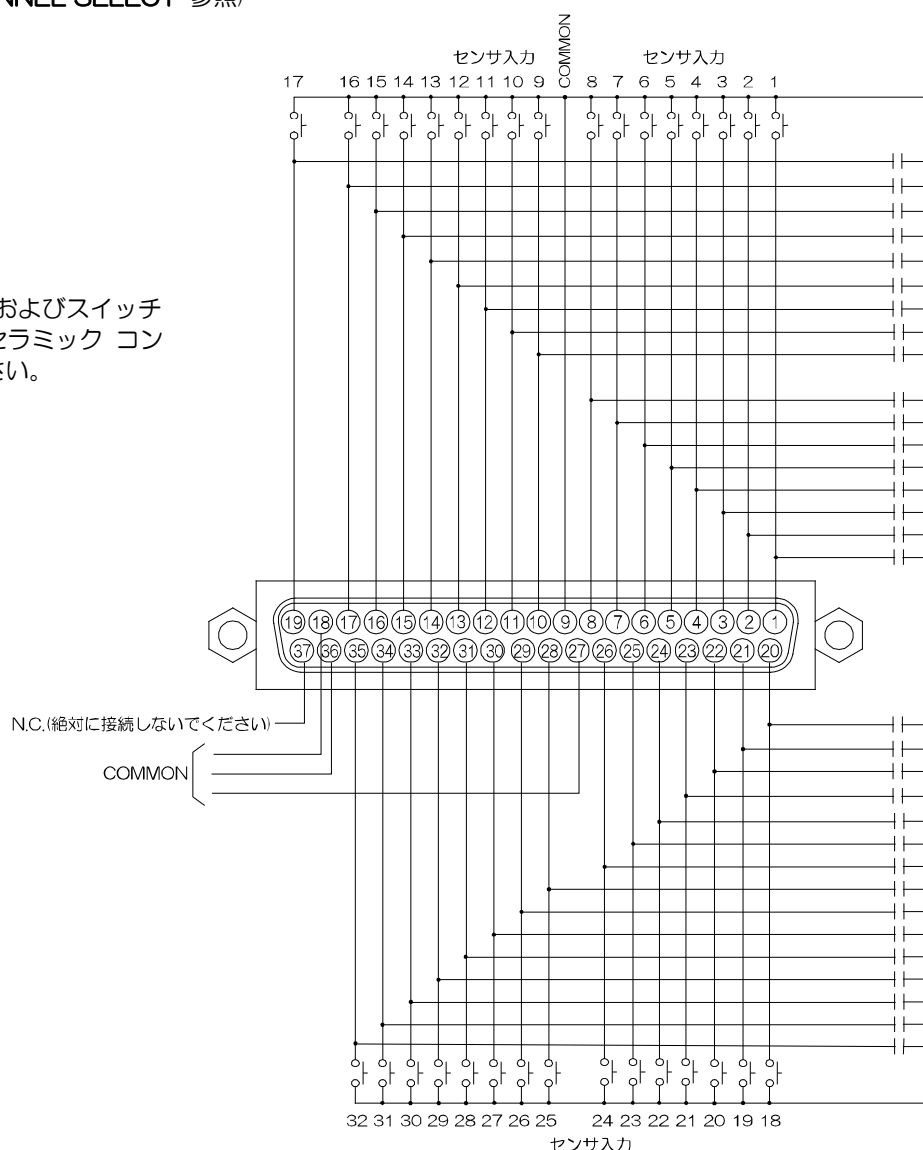
PIN	動作
13	センサ入力 12
14	センサ入力 13
15	センサ入力 14
16	センサ入力 15
17	センサ入力 16
18	COMMON
19	センサ入力 17
20	センサ入力 18
21	センサ入力 19
22	センサ入力 20
23	センサ入力 21
24	センサ入力 22

PIN	動作
25	センサ入力 23
26	センサ入力 24
27	COMMON
28	センサ入力 25
29	センサ入力 26
30	センサ入力 27
31	センサ入力 28
32	センサ入力 29
33	センサ入力 30
34	センサ入力 31
35	センサ入力 32
36	COMMON
37	接続しないでください

※メニューでセンサ入力(1~32)にカメラ入力(1~32)を割り当てます。
(27 ページ 4-3-2.CHANNEL SELECT 参照)

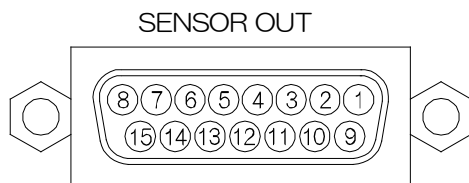
●接続例

※ノイズの多い場所では入力、およびスイッチの両端に0.01~0.1 μ Fのセラミック コンデンサーを取り付けてください。



SENSOR コネクターの接続例

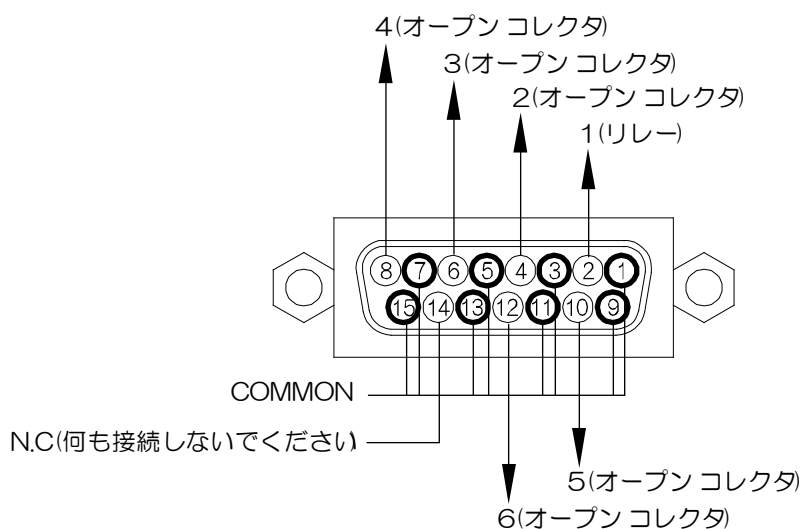
■SENSOR OUT コネクター



●各ピンの動作表

PIN	動作
1	COMMON
2	センサ出力 1 メイク接点 (リレー) DC24V 500mA 以下
3	COMMON
4	センサ出力 2 メイク接点 (オープン コレクタ) DC12V 100mA 以下
5	COMMON
6	センサ出力 3 メイク接点 (オープン コレクタ) DC12V 100mA 以下
7	COMMON
8	センサ出力 4 メイク接点 (オープン コレクタ) DC12V 100mA 以下
9	COMMON
10	センサ出力 5 メイク接点 (オープン コレクタ) DC12V 100mA 以下
11	COMMON
12	センサ出力 6 メイク接点 (オープン コレクタ) DC12V 100mA 以下
13	COMMON
14	N.C 何も接続しないでください
15	COMMON

※メニューでカメラ入力(1~32)にセンサ出力(1~6)を割り当て信号出力できます。
(28 ページ 4-5.SIGNAL OUTPUT 参照)



日時の調整

最初に映像を表示させたとき、またご使用の途中など、日時表示を確認するようにしてください。(右図)

現在の日時と合っていれば、そのままお使いになれます。

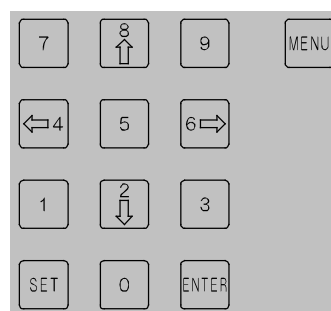
日時の調整が必要な場合は、以下の手順で調整してください。

注意 ●メニューは映像出力端子 1 (MONITOR OUT1)のみ表示されます。
映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください

08. 07. 18 16:49:23

CH 1 2

①出力 1 の画面を見ながら、前面の MENU ボタンを押します。



②入出力の状態画面(右図)が表示されたら ENTER ボタンを押します。

```

Output                                     Page 01
1 2 3 4 5 6 7 8 9 a b c d e f g
I 1 ■
n 2 ■
p 3 ■
u 4 ■
t 5 ■
6 ■
7 ■
8 ■
MENU: Escape      <: Back
ENTER: Setup      >: Next
    
```

③MAIN MENU(右図)が表示されたら、↑,↓ボタンでカーソル(▷)を“TIME SIGNAL”に合わせ、ENTER ボタンを押します。

```

MAIN MENU

OUTPUT SET-----FREE
OUTPUT PATTERN
SEQUENCE PATTERN
ALARM
▷TIME SIGNAL
TITLE
PASSWORD
SERIAL INTERFACE
ETHERNET
    
```

④TIME SIGNAL 画面(右図)が表示されたら、↑,↓ボタンでカーソル(▷)を“CLOCK ADJUST”に合わせ、ENTER ボタンを押します。
日時の左端の値から点滅するので、←,→ボタンで点滅を移動させ、↑,↓ボタンで値を変更し、ENTER ボタンを押すと日時が決定します。

```

TIME SIGNAL

30 SEC. ADJUST
▷CLOCK ADJUST
  >08<-07. 11 23:59:59
INPUT CHANNEL
OUTPUT CHANNEL
DISPLAY RANGE-----YMDHMS
DISPLAY SIZE-----NORMAL
ESCAPE
    
```

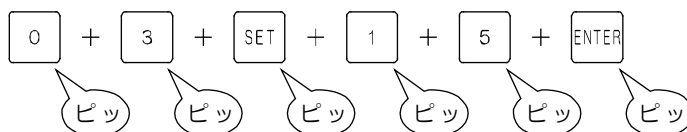
⑤MENU ボタンを押すとメニューが終了します。再度、画面上部の日時の表示を確認してください。

出力:入力 割り当ての概要と例

■フロント ボタンで割り当てる

(詳細は 20 ページ ■フロント ボタンで出力に入力を割り当てる をご参照ください)

右図の操作をすると出力 3 のモニターに入力 15 の映像が表示されます。
ピッと鳴らないときはもう一度押してください。
無効なキーを押すと鳴りません。



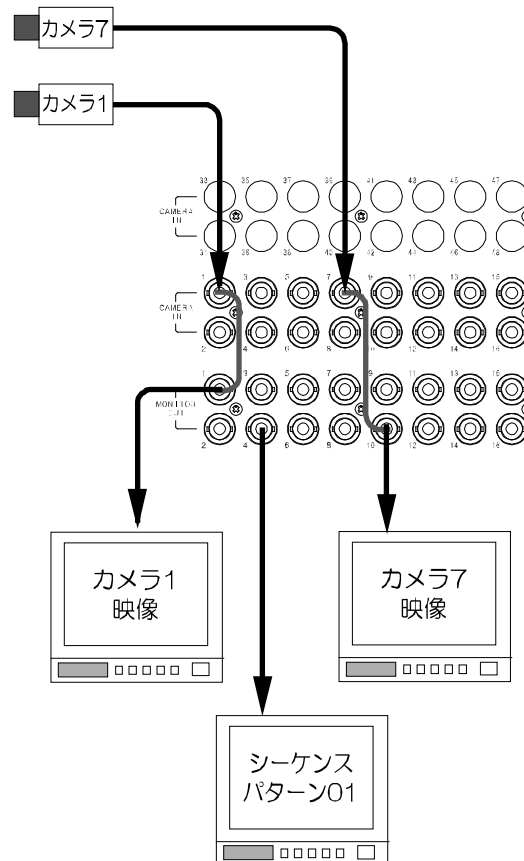
■本体メニューで割り当てる

(詳細は 24 ページ 1-1.OUTPUT SET FREE をご参照ください)

アウトプット セットをFREEにすると、続いて割り当てる画面が表示されます。

そこで出力 1~16 のそれぞれに、INO1~IN32, SP01~SP64 を割り当てます。

OUTPUT SET	FREE
CH.	CH.
▷ 01 IN01	09 IN09
02 IN02	10 IN07
03 IN03	11 IN11
04 SP01	12 IN12
05 IN05	13 IN13
06 IN06	14 IN14
07 IN32	15 IN15
08 IN08	16 IN16
ESCAPE	ESCAPE

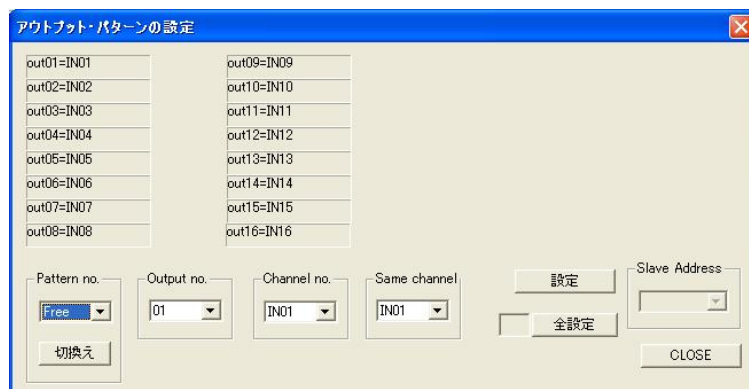


■専用ソフトで割り当てる

(詳細は 40 ページ 1.アウトプット パターン をご参照ください)

フロント ボタン操作やメニュー操作と同等の操作をおこなうことができます。

右図で “Pattern no.” を “Free” にして、出力 1~16 のそれぞれに、INO1~IN32, SP01~SP64 を割り当てます。



出力:入力 割り当ての概要と例

■プリセットする

出力:入力の組合せのパターンを作成しておくことができます。

パターンの作成は本体メニューまたは専用ソフトのいずれも使用できます。

プリセット手順は次の①～③の順でおこなってください。

①シーケンス パターン(SPO1～SP64)を作る

入力 1～32 それぞれの表示時間のパターンを作ります。

(詳細は 25 ページ **3.SEQUENCE PATTERN** をご参照ください)

SPO1 作成の例：入力 1 を 3 秒表示→入力 2 を 5 秒表示→入力 3 をスキップ→
入力 4 を 30 秒表示→入力 5～15 を 3 秒ずつ表示→
入力 16～32 をスキップ→入力 1 に戻る…

②アウトプット パターン(OP01～OP64)を作る

出力 1～16 のそれぞれに、IN01～IN32 または SPO1～SP64 を割り当てます。

IN01～IN32 は入力 01～入力 32

(詳細は 24 ページ **2.OUTPUT PATTERN** をご参照ください)

OPO1 作成の例： 出力 1 に SPO1 を表示,
出力 2 に入力 1 (IN01) 表示,
出力 3 に入力 3 (IN03) 表示,
出力 4 に入力 4 (IN04) 表示,
出力 5 に入力 5 (IN05) 表示,
出力 6 に入力 6 (IN06) 表示,
出力 7 に入力 7 (IN07) 表示,
出力 8 に SPO2 を表示,
出力 9 に入力 18 (IN18) 表示,
出力 10 に入力 19 (IN19) 表示,
出力 11 に入力 20 (IN20) 表示,
出力 12 に入力 21 (IN21) 表示,
出力 13 に入力 22 (IN22) 表示,
出力 14 に入力 23 (IN23) 表示,
出力 15 に SPO3 を表示,
出力 16 に SPO4 を表示

③アウトプット セットに出力パターンを設定する

(右図)

OP01～OP64 のいずれかを現在の表示にします。

(詳細は 24 ページ **1.OUTPUT SET** をご参照ください)

MAIN MENU

```
▷OUTPUT SET-----OP01
  OUTPUT PATTERN
  SEQUENCE PATTERN
  ALARM
  TIME SIGNAL
  TITLE
  PASSWORD
  SERIAL INTERFACE
  ETHERNET
```

基本動作

操作上のご注意 —この説明書をよくお読みになり、記載されていない意味のない操作、および乱暴な操作は絶対におこなわないでください。

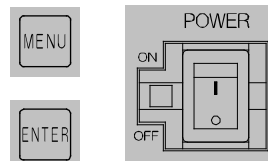
■電源立上げ

各種接続がしっかりおこなわれているかを確認してください。
AC ケーブルをコンセントにつなぎ、電源スイッチを ON にしてください。
このとき、映像出力端子から映像信号が出力されていることを確認してください。

■デフォルト セット

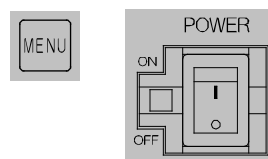
●デフォルト セット(全項目)

メニューの各設定値およびタイトルを工場出荷時設定に戻す操作です。
MENU ボタンと ENTER ボタンを同時に押しながら電源スイッチを入れます。
MENU ボタンと ENTER ボタンは約 5 秒間押し続けてください。



●デフォルト セット(タイトル以外)

メニューの各設定値を工場出荷時設定に戻す操作です。
タイトルは工場出荷時設定に戻りません。
MENU ボタンを同時に押しながら電源スイッチを入れます。
MENU ボタンは約 5 秒間押し続けてください。

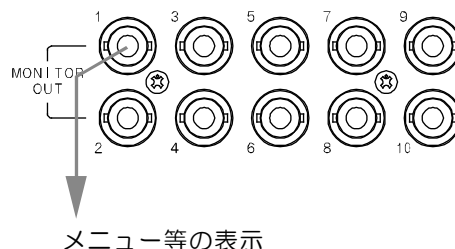


注意 ●メニューを表示させて工場出荷時設定に戻っていることを確認してください。
●工場出荷時設定に戻っていない場合は、電源スイッチを切り、もう一度ボタンを長めに押してデフォルト セットの操作をしてください。
●デフォルト セットをおこなうとアラーム履歴も消去されます。

■メニュー、メッセージの表示画面

メニューおよび入出力の状態画面や各種メッセージは、出力端子 1 に接続されたモニターのみ表示します。
工場出荷時は入力端子 1 の映像が出力端子 1 から出力していますので、かならず入力端子 1 に映像を入力してください。

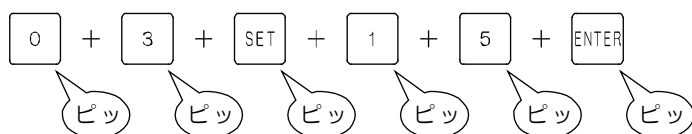
注意 ●出力端子 1 から映像信号が出力されていない場合は、メニューも表示されません。



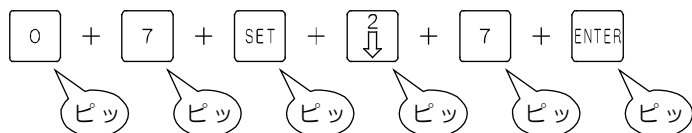
■フロント ボタンで出力に入力を割り当てる

【出力端子番号+SET+入力端子番号+ENTER】の順に押すと設定できます。

(例 1)出力 3 に入力 15 を表示させる場合



(例 2)出力 7 に入力 27 を表示させる場合

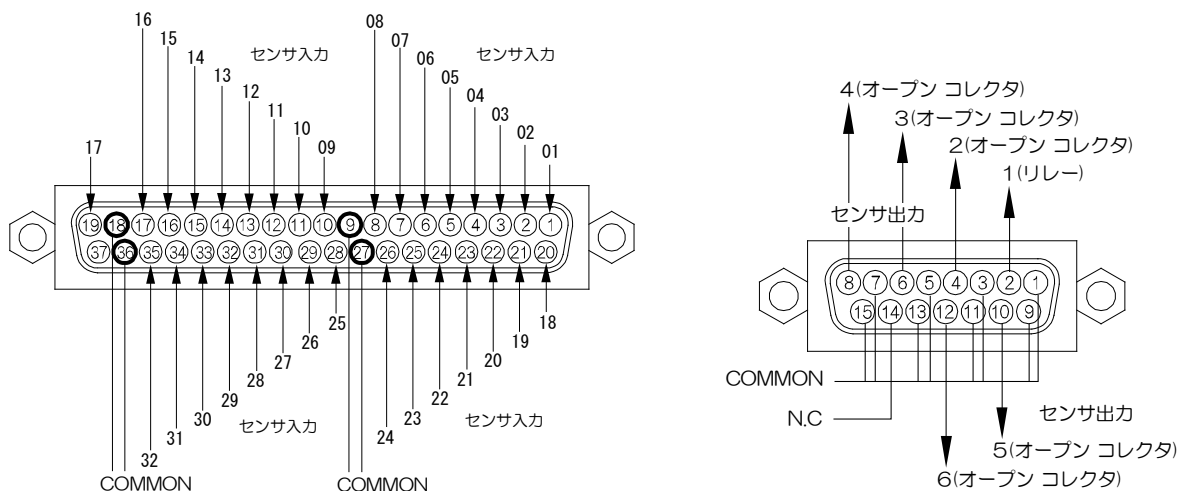


注意 ●ピッと鳴らないときはもう一度押してください。無効なキーを押すと鳴りません。

基本動作

■アラーム動作

背面の SENSOR IN コネクター(1~8,10~17,19~26,28~35)にセンサ信号が入力されると、アラーム動作します。



アラーム動作は次のとおりです。

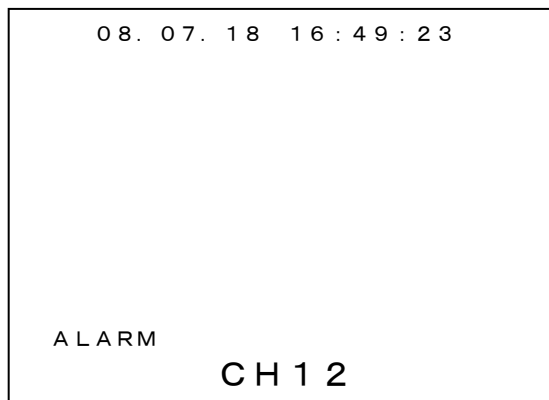
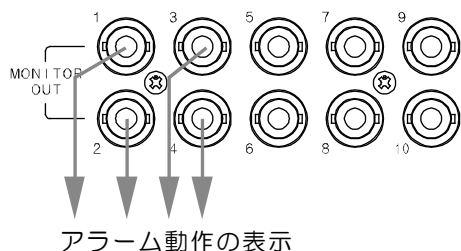
- 背面の SENSOR OUT コネクター-2,4,6,8,10,12 から信号出力させる。

PIN	動作
2	センサ出力 1 メイク接点(リレー)DC24V 500mA 以下
4	センサ出力 2 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
6	センサ出力 3 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
8	センサ出力 4 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
10	センサ出力 5 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
12	センサ出力 6 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
14	N.C 何も接続しないでください

PIN 1,3,5,7,9,11,13,15 は COMMON

注意 ●メニューを表示中はセンサ入力を受け付けません。
●工場出荷時にはセンサ出力 1 のみ信号を出力します。センサ出力 2~6 から信号出力するときは、メニューにて設定してください。(34 ページ 4-5,SIGNAL OUTPUT 参照)

- センサ入力に対応したカメラ入力映像に切り換わる。(映像出力 1~4 のみ)
- 画面左下に“ALARM”の文字表示(ON/OFF 可)(映像出力 1~4 のみ)
- アラーム動作終了後、前のカメラ入力映像に戻る。(戻る/そのまま 選択可)(映像出力 1~4 のみ)
- ブザー音が鳴る。(ON/OFF 可)
- アラーム履歴に記録される。



- 注意 ●映像出力端子 5~16 はアラーム動作表示がありません。
●工場出荷時には映像出力端子 1 のみアラーム動作します。映像出力端子 2~4 をアラーム動作にするときは、メニューにて設定してください。(34 ページ 4-4,MONITOR OUTPUT 参照)
●アラーム履歴,ブザー音,アラーム表示等の各設定は 31~35 ページ 4.ALARM の各項目をご参照ください。

基本動作

■パスワードによるロック

フロント ボタンでの割り当て操作と MENU ボタン操作をパスワードによりそれぞれロックすることができます。

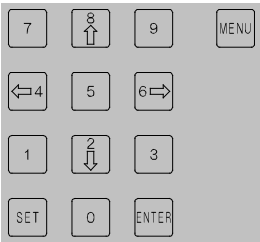
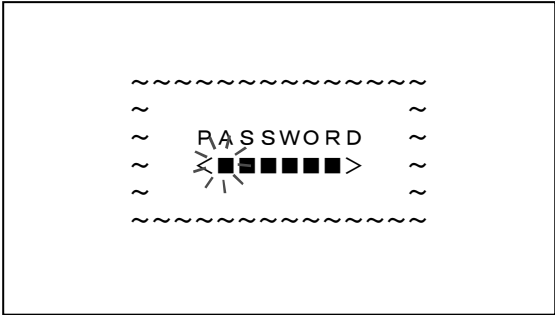
●パスワードの入力方法

パスワードによるロックが設定されているボタンを押すと、6 ケタのパスワード入力画面が表示されます。

左端の■が点滅していますので、前面部のテンキーボタン **0** ~ **9** を使用して、パスワードを入力します。

パスワードが正しければ “a g r e e m e n t” が点滅表示され動作を許可します。
パスワードが間違っていると、“d i s a g r e e m e n t” が点滅表示されます。

パスワードの設定方法は
33 ページ **7.PASSWORD** をご参照ください。



メニューと専用ソフトの使い分け

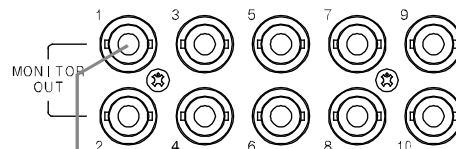
メニュー表示中は専用ソフトからの設定はできません。
専用ソフトで設定した内容はメニューに反映されますが、メニューで設定した内容は専用ソフトに反映されません。

設定・操作が可能なものと不可のものがありますので、下表でご確認ください。

●メニューのみ可(専用ソフトでは不可)	●専用ソフトのみ可(メニューでは不可)
・アラーム履歴,件数の表示 ・アラーム履歴の削除 ・本体の IP アドレス設定,接続自動解除設定 ・本体のサーバー/クライアント設定 ・RS-485 号機設定 ・シリアル通信時のデータレートなどの設定	・タイトル入力 ・プリセットのファイル保存

メニュー設定

注意 ●メニューは映像出力端子 1 (MONITOR OUT 1) のみ表示されます。
映像出力端子 1 はかならず映像を表示させてください。
●メニューを表示中はセンサ入力を受け付けません。



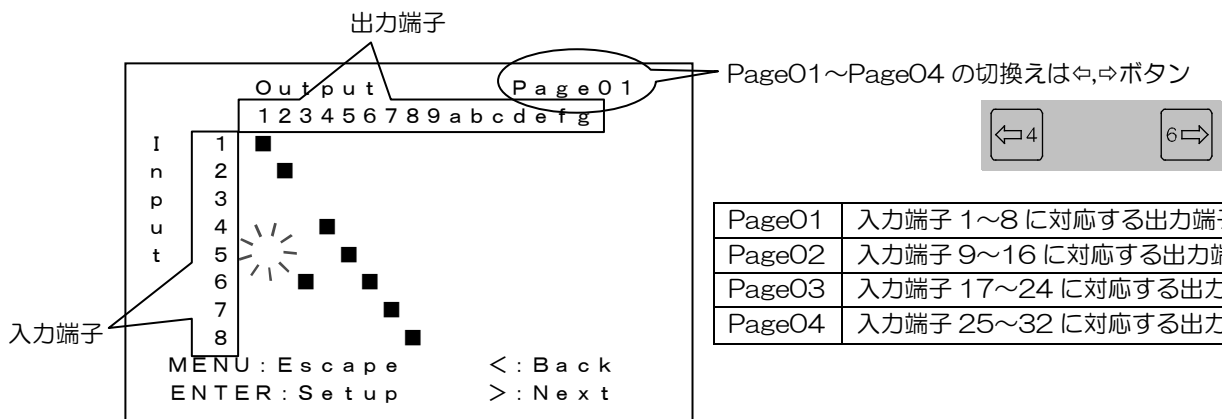
■入出力の状態画面

MENU ボタンを押すと、入出力の状態画面が表示されます。



メニュー等の表示

“■” が表示されているところが、出力端子：入力端子の組み合わせです。
“■” が点滅しているところは、その出力がオート シーケンス表示している場合です。
(下図の画面例では、出力 3 がオート シーケンス表示しています。)



※入出力の状態画面を終了して映像表示に戻るときは、MENU ボタンを押します。

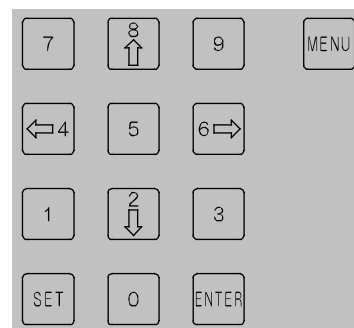
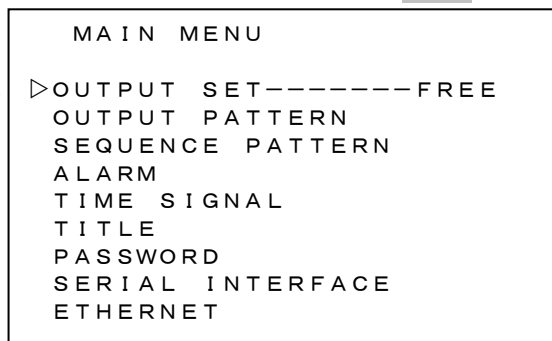


※メニュー (MAIN MENU) に進むには、ENTER ボタンを押します。



■メニューの操作方法

入出力の状態画面の表示中に、ENTER ボタンを押すと、MAIN MENU が表示されます。



以下に MAIN MENU 以降のメニュー全般の操作方法を説明します。

●設定したい項目を選ぶとき

←,→,↑,↓ボタンで設定したい項目にカーソル(▷)を合わせ ENTER ボタンを押すと、次のメニューが表示されるか、設定値が点滅します。

●設定値を変更したいとき

設定値が点滅したら↑,↓ボタンで値を変更し、ENTER ボタンを押して決定します。

●点滅を移動したいとき

←,→,↑,↓ボタンで点滅を移動させ、ENTER ボタンを押します。

▷CLOCK ADJUST
08:07.11 23:59:59

●ひとつ前のメニューに戻りたいとき

設定値が点滅していないときに“ESCAPE”にカーソル(▷)を合わせ ENTER ボタンを押すと、ひとつ前のメニューに戻ります。

●メニュー、入出力の状態画面を終了したいとき

設定値が点滅していないときに MENU ボタンを押すと終了します。

●入出力の状態画面を表示させたいとき

MENU ボタンを押して一度メニューを終了させて、再度 MENU ボタンを押してください。

メニュー設定

1.OUTPUT SET

現在の出力状態を設定します。

値	出力状態
FREE	出力：入力のパターンを作成するため、 OUTPUT SET FREE 画面に進む。
OP01 ⋮ OP64	OUTPUT PATTERN でプリセットされたア ウトプット パターン 01～64 を出力する。 (2.OUTPUT PATTERN 参照)

工場出荷時設定: FREE

MAIN MENU

```

▷ OUTPUT SET-----FREE
  OUTPUT PATTERN
  SEQUENCE PATTERN
  ALARM
  TIME SIGNAL
  TITLE
  PASSWORD
  SERIAL INTERFACE
  ETHERNET
    
```

1-1.OUTPUT SET FREE

1.OUTPUT SET で“FREE”を設定したときのみ表示される項目です。

CH.01～16 の各出力に次の値を設定します。

値	出力状態
INO1 ⋮ IN32	カメラ入力 01～32 の固定出力
SP01 ⋮ SP64	SEQUENCE PATTERN でプリセットされた シーケンス パターン 01～64 の出力 (次ページ 3.SEQUENCE PATTERN 参照)

※工場出荷時設定: 出力 01～16 に対して IN01～IN16

```

      OUTPUT SET FREE
CH.          CH.
▷ 01 IN01    09 IN09
  02 IN32    10 IN10
  03 SP01    11 IN11
  04 SP64    12 IN12
  05 IN05    13 IN13
  06 IN06    14 IN14
  07 IN07    15 IN15
  08 IN08    16 IN16
  ESCAPE     ESCAPE
    
```

注意 ●ここで設定した内容は、“OUTPUT SET-----FREE”のまま電源を切ったときは保存されます。
●ここで設定した内容は、“OUTPUT SET”を“FREE”以外の設定に変えて電源を切ったときは保存されず工場出荷時設定に戻ります。

2.OUTPUT PATTERN

アウトプット パターン(OP01～OP64)をプリセットします。

①No.01～64 のパターン番号を選択します。

No.01～16,17～32,33～48,49～64 で画面が分かれ、全部で 4 画面あります。

画面を進めたり戻したりするには、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、右下の ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

```

      OUTPUT PATTERN
No.      No.
▷ 01      09
  02      10
  03      11
  04      12
  05      13
  06      14
  07      15
  08      16
  ESCAPE  ESCAPE
    
```

②CH.01～16 の各出力に次の値を設定します。

値	出力状態
INO1 ⋮ IN32	カメラ入力 01～32 の固定出力
SP01 ⋮ SP64	SEQUENCE PATTERN でプリセットされたシ ーケンス パターン 01～64 の出力 (次ページ 3.SEQUENCE PATTERN 参照)

工場出荷時設定: 全パターンの出力 01～16 に対して IN01～IN16

```

      OUTPUT PATTERN No. 01
CH.          CH.
▷ 01 IN01    09 IN09
  02 IN32    10 IN10
  03 SP01    11 IN11
  04 SP64    12 IN12
  05 IN05    13 IN13
  06 IN06    14 IN14
  07 IN07    15 IN15
  08 IN08    16 IN16
  ESCAPE     ESCAPE
    
```

カーソル(▷)を ESCAPE に合わせて ENTER ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

メニュー設定

3. SEQUENCE PATTERN

シーケンス パターン(SP01～SP64)をプリセットします。

①No.01～64 のパターン番号を選択します。

No.01～16,17～32,33～48,49～64 で画面が分かれ、全部で 4 画面あります。

画面を進めたり戻したりするには、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、右下の ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

SEQUENCE PATTERN	
No.	No.
▷ 01	09
02	10
03	11
04	12
05	13
06	14
07	15
08	16
ESCAPE	ESCAPE

②CH.01～32 の各入力の表示時間を設定します。

表示時間は 00～99(秒)の間で設定できます。

00 に設定するとその入力にはスキップします。

CH.01～16,17～32 で画面が分かれ、全部で 2 画面あります。

画面を進めたり戻したりするには、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、右下の ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

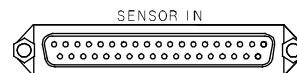
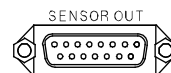
SEQUENCE PATTERN No. 01	
CH.	CH.
▷ 01 03 SEC.	09 03 SEC.
02 03 SEC.	10 03 SEC.
03 03 SEC.	11 03 SEC.
04 03 SEC.	12 03 SEC.
05 03 SEC.	13 03 SEC.
06 03 SEC.	14 03 SEC.
07 03 SEC.	15 03 SEC.
08 03 SEC.	16 03 SEC.
ESCAPE	ESCAPE

工場出荷時設定: 全パターン,全入力 03(秒)

注意 ●映像信号のない入力はかならず 00SEC.(スキップ)に設定してください。

4. ALARM

背面の SENSOR OUT コネクタ,SENSOR IN コネクタおよびアラーム動作を設定します。



4-1. EVENT LIST

センサ入力(アラーム動作)の履歴を表示します。

4-1-1. 件数

“EVENT LIST” の右側にはセンサ入力のあった件数を表示します。

※最大 960 件まで記録されます。

ALARM	
▷EVENT LIST	056
EVENT LIST ERASE	
INPUT	
MONITOR OUTPUT	
SIGNAL OUTPUT	
DURATION TIME	----10 SEC.
DISPLAY	-----ON
BUZZER OUT	-----ON
RETURN	-----ON
ESCAPE	

4-1-2. アラーム履歴

“EVENT LIST” にカーソル(▷)を合わせて ENTER ボタンを押すと、ALARM EVENT LIST 画面が表示されます。

センサ入力のあったチャンネル,日付,時刻が 1 ページにつき 10 件ずつ 960 件まで表示されます。

ページは右上に PAGE01～PAGE96 まで表示されます。

ページは⇧,⇩ボタンで進めたり戻したりできます。

ENTER ボタンを押すと、ALARM 画面に戻ります。

ALARM EVENT LIST				PAGE01
NO.	CH.	DATE	TIME	
001	01	08. 12. 31	23:59:50	
002	02	08. 12. 31	23:59:51	
003	02	08. 12. 31	23:59:52	
004	03	08. 12. 31	23:59:53	
005	01	08. 12. 31	23:59:54	
006	01	08. 12. 31	23:59:55	
007	04	08. 12. 31	23:59:56	
008	04	08. 12. 31	23:59:57	
009	04	08. 12. 31	23:59:58	
010	01	08. 12. 31	23:59:59	

※961 件目からのセンサ入力は、履歴の 960 件目に挿入されます。1 件目のデータは消去され、2 件目のデータが 1 件目に移動します。

メニュー設定

4-2.EVENT LIST ERASE

アラーム履歴を消去します。

値	動作
NO	アラーム履歴を消去しない
YES	アラーム履歴を消去する “EVENT LIST”の値が“000”になる

```
ALARM

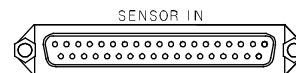
EVENT LIST
▷EVENT LIST ERASE 056 NO
INPUT
MONITOR OUTPUT
SIGNAL OUTPUT
DURATION TIME----10SEC.
DISPLAY-----ON
BUZZER OUT-----ON
RETURN-----ON
ESCAPE
```

注意 ●アラーム履歴は、デフォルト セットするとすべて消去されます。

メニュー設定

4-3.INPUT

SENSOR IN コネクタの信号入力に関する設定をします。



4-3-1.POLARITY

センサ入力信号の検出接点を設定します。

値	動作
MAKE	センサ等が閉じたとき検出する ノーマル オープン
BREAK	センサ等が開いたとき検出 ノーマル クローズ

※工場出荷時設定:MAKE

ALARM INPUT	
▷POLARITY-----MAKE	
CHANNEL SELECT	
ESCAPE	

4-3-2.CHANNEL SELECT

“No.” はセンサ入力 1～32 を表します。

各センサ入力に対するカメラ入力 “CH.”

(01～32)を設定します。

No.01～16,17～32 で画面が分かれ、全部で2画面あります。

画面を進めたり戻したりするには、カーソル(▷)をO1に合わせ、↑ボタンを押すか、右下のESCAPEに合せて↓ボタンを押すなどします。

※工場出荷時設定:センサ入力 01～32 に対して
カメラ入力 01～32

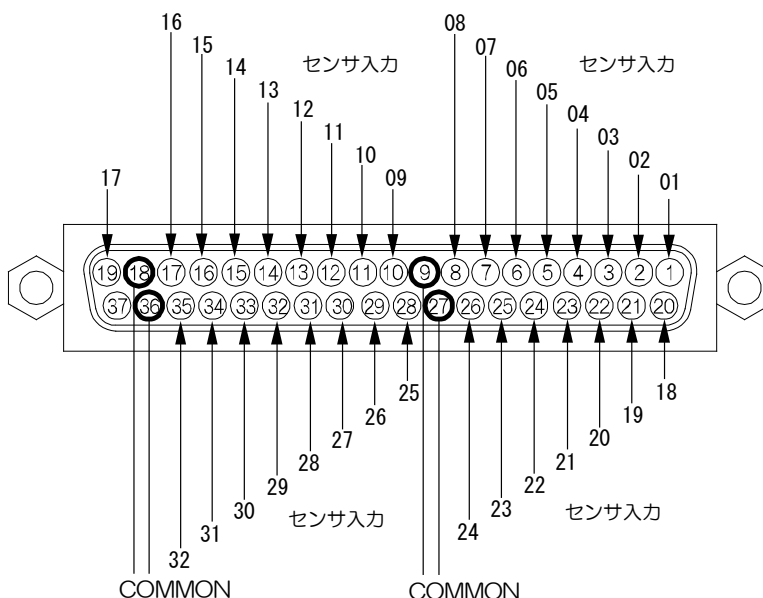
ALARM INPUT CH. SELECT			
No.	CH.	No.	CH.
▷01	01	09	09
02	02	10	10
03	03	11	11
04	04	12	12
05	05	13	13
06	06	14	14
07	07	15	15
08	08	16	16
ESCAPE		ESCAPE	

●各ピンの構成表

PIN	動作
1	センサ入力 1
2	センサ入力 2
3	センサ入力 3
4	センサ入力 4
5	センサ入力 5
6	センサ入力 6
7	センサ入力 7
8	センサ入力 8
9	COMMON
10	センサ入力 9
11	センサ入力 10
12	センサ入力 11

PIN	動作
13	センサ入力 12
14	センサ入力 13
15	センサ入力 14
16	センサ入力 15
17	センサ入力 16
18	COMMON
19	センサ入力 17
20	センサ入力 18
21	センサ入力 19
22	センサ入力 20
23	センサ入力 21
24	センサ入力 22

PIN	動作
25	センサ入力 23
26	センサ入力 24
27	COMMON
28	センサ入力 25
29	センサ入力 26
30	センサ入力 27
31	センサ入力 28
32	センサ入力 29
33	センサ入力 30
34	センサ入力 31
35	センサ入力 32
36	COMMON
37	接続しないでください



メニュー設定

4-4.MONITOR OUTPUT

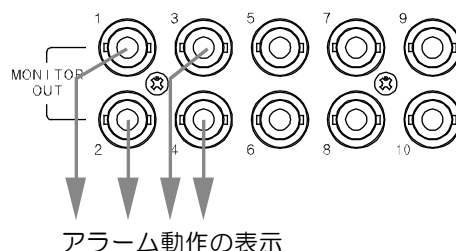
各カメラ入力 1～32 に信号入力があったとき、映像出力 1～4 のアラーム動作の ON/OFF をそれぞれ設定します。

“CH. 01”～“CH. 32”はカメラ入力 1～32 です。
(センサ入力ではありません)
“01”～“04”は映像出力 1～4 です。

CH.01～08, 09～16, 17～24, 25～32 で画面が分かれ、全部で 4 画面あります。
画面を進めたり戻したりするには、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

※工場出荷時設定: 映像出力 1 は全入力 ON
映像出力 2～4 は全入力 OFF

	ALARM	MONITOR	OUTPUT	
CH.	01	02	03	04
▷01	ON	OFF	OFF	OFF
02	ON	OFF	OFF	OFF
03	ON	OFF	OFF	OFF
04	ON	OFF	OFF	OFF
05	ON	OFF	OFF	OFF
06	ON	OFF	OFF	OFF
07	ON	OFF	OFF	OFF
08	ON	OFF	OFF	OFF
ESCAPE				



注意 ●前ページ 4-3-2.CHANNEL SELECT で、センサ入力にそのカメラ入力の設定されていない場合は、ALARM MONITOR OUTPUT 画面で“ON”になっていても、アラーム動作しません。

4-5.SIGNAL OUTPUT

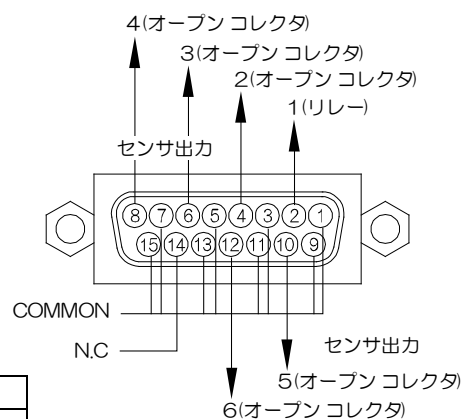
各カメラ入力 1～32 に信号入力があったとき、センサ出力 1～6 の信号出力の ON/OFF をそれぞれ設定します。

“CH. 01”～“CH. 32”はカメラ入力 1～32 です。(センサ入力ではありません)
“01”～“06”はセンサ出力 1～6 です。

CH.01～08, 09～16, 17～24, 25～32 で画面が分かれ、全部で 4 画面あります。
画面を進めたり戻したりするには、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

※工場出荷時設定: センサ出力 1 は全入力 ON
センサ出力 2～6 は全入力 OFF

ALARM		SIGNAL			OUTPUT	
CH.	01	02	03	04	05	06
▷ 01	ON	OF	OF	OF	OF	OF
02	ON	OF	OF	OF	OF	OF
03	ON	OF	OF	OF	OF	OF
04	ON	OF	OF	OF	OF	OF
05	ON	OF	OF	OF	OF	OF
06	ON	OF	OF	OF	OF	OF
07	ON	OF	OF	OF	OF	OF
08	ON	OF	OF	OF	OF	OF
ESCAPE						



PIN	動作
2	センサ出力 1 メイク接点(リレー)DC24V 500mA 以下
4	センサ出力 2 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
6	センサ出力 3 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
8	センサ出力 4 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
10	センサ出力 5 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
12	センサ出力 6 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
14	N.C 何も接続しないでください
PIN 1,3,5,7,9,11,13,15 は COMMON	

注意 ●前ページ 4-3-2.CHANNEL SELECT で、センサ入力にそのカメラ入力の設定されていない場合は、ALARM SIGNAL OUTPUT 画面で“ON”になっていても、信号は出力されません。

メニュー設定

4-6.DURATION TIME

センサ信号入力時に、アラーム動作を保持する時間を設定します。01～99(秒)の間で設定します。

※工場出荷時設定:10(秒)

```

ALARM

EVENT LIST          056
EVENT LIST ERASE   NO
INPUT
MONITOR OUTPUT
SIGNAL OUTPUT
▷ DURATION TIME --- 10 SEC.
DISPLAY-----ON
BUZZER OUT-----ON
RETURN-----ON
ESCAPE
    
```

4-7.DISPLAY

アラーム動作保持期間中、アラーム動作画面左下への“ALARM”の表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	画面左下に“ALARM”を表示する
OFF	画面左下に“ALARM”を表示しない

※工場出荷時設定:ON

```

08. 07. 18  16:49:23

ALARM

CH 12
    
```

4-8.BUZZER OUT

アラーム動作保持期間中、ブザーON/OFFの設定をします。

値	動作
ON	ブザーを鳴らす
OFF	ブザーを鳴らさない

※工場出荷時設定:ON

4-9.RETURN

アラーム動作保持期間終了後の映像を設定します。

値	動作
ON	アラーム前の表示に戻る
OFF	アラーム保持期間中の映像表示のまま

※工場出荷時設定:ON

メニュー設定

5.TIME SIGNAL

モニターに表示する日付,時刻を設定します。

※表示位置はタイトルが下部の場合は日時は上部へ表示し、
タイトルが上部の場合は日時は下部へ表示します。

08. 07. 18 16:49:23

CH 12

5-1.30SEC.ADJUST

時刻の 30 秒補正をおこないます。

“30SEC. ADJUST” にカーソル(▷)を合わせ、“CLOCK ADJUST” の秒の値が 0~29 秒の間に ENTER ボタンを押すと 00 秒となり、30~59 秒の間に ENTER ボタンを押すと、1 分進んで 00 秒となります。

TIME SIGNAL

▷30SEC. ADJUST
CLOCK ADJUST
08. 07. 24 14:55 
INPUT CHANNEL
OUTPUT CHANNEL
DISPLAY RANGE----YMDHMS
DISPLAY SIZE-----NORMAL
ESCAPE

5-2.CLOCK ADJUST

日付,時刻を調整します。

“CLOCK ADJUST” にカーソル(▷)を合わせ ENTER ボタンを押すと、日時の左端の値から点滅します。
←,→ボタンで点滅を移動させ、↑,↓ボタンで値を変更し、
ENTER ボタンを押すと日時が決定します。

▷CLOCK ADJUST
 08. 12. 31 23:59:59

5-3.INPUT CHANNEL

カメラ入力 1~32 への日時の表示/非表示をそれぞれ設定します。

CH.01~16, 17~32 で画面が分かれ、全部で 2 画面あります。

画面を進めたり戻したりするには、カーソル(▷)を 01 に合わせて↑ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて↓ボタンを押すなどします。

値	動作
ON	そのカメラ入力に日時を表示する
OFF	そのカメラ入力に日時を表示しない

TIME SIGNAL		INPUT CH.	
CH.		CH.	
▷01	ON	09	ON
02	ON	10	ON
03	ON	11	ON
04	ON	12	ON
05	ON	13	ON
06	ON	14	ON
07	ON	15	ON
08	ON	16	ON
ESCAPE		ESCAPE	

※工場出荷時設定:全カメラ入力 ON

注意 ●カメラ入力が ON になっていても、それを表示する出力が OFF になっていると、
日時は表示されません。(5-4.OUTPUT CHANNEL 参照)

5-4.OUTPUT CHANNEL

映像出力 1~16 への日時の表示/非表示をそれぞれ設定します。

値	動作
ON	その出力に日時を表示する
OFF	その出力に日時を表示しない

※工場出荷時設定:全出力 ON

TIME SIGNAL		OUTPUT CH.	
CH.		CH.	
▷01	ON	09	ON
02	ON	10	ON
03	ON	11	ON
04	ON	12	ON
05	ON	13	ON
06	ON	14	ON
07	ON	15	ON
08	ON	16	ON
ESCAPE		ESCAPE	

注意 ●出力が ON になっていても、表示されているカメラ入力が OFF になっていると、
日時は表示されません。(5-3.INPUT CHANNEL 参照)

メニュー設定

5-5.DISPLAY RANGE

日時の表示範囲を設定します。

値	動作	表示例
YMDHMS	年月日時分秒	08. 07. 24 14:55:36
YMDHM	年月日時分	08. 07. 24 14:55
YMD	年月日	08. 07. 24
MDHMS	月日時分秒	07. 24 14:55:36
MDHM	月日時分	07. 24 14:55
MD	月日	07. 24
HMS	時分秒	14:55:36
HM	時分	14:55

※工場出荷時設定:YMDHMS

※全カメラ入力および全出力に共通の設定です。

5-6.DISPLAY SIZE

日時の表示文字サイズを設定します。

値	動作
NORMAL	標準文字サイズ
SMALL	小さい文字サイズ

※工場出荷時設定: NORMAL

※全カメラ入力および全出力に共通の設定です。

```

TIME SIGNAL

30SEC. ADJUST
CLOCK ADJUST
    08. 07. 24 14:55:36
INPUT CHANNEL
OUTPUT CHANNEL
▷DISPLAY RANGE----YMDHMS
DISPLAY SIZE-----NORMAL
ESCAPE
    
```

6.TITLE

モニターに表示するタイトルを設定します。

※タイトルの入力には専用の Windows ソフトをご使用ください。
(メニューからは入力できません)
(41 ページ 3.タイトル 参照)

※タイトルは、各カメラ入力(01~32)に最長 14 文字を設定できます。内臓フォントは 22×22 ドット,ゴシック体,文字色は白で黒の縁取りです。

```

TITLE

▷POSITION
INPUT CHANNEL
OUTPUT CHANNEL
TOP ADJUST-----08
BOTTOM ADJUST----08
ESCAPE
    
```

6-1.POSITION

カメラ入力 1~32 にタイトル表示位置をそれぞれ設定します。

CH.01~16, 17~32 で画面が分かれ、全部で 2 画面あります。

画面を進めたり戻したりするには、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇐ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて⇓ボタンを押すなどします。

値	動作
BOTTOM	タイトルを画面下部中央に表示する
TOP	タイトルを画面上部中央に表示する

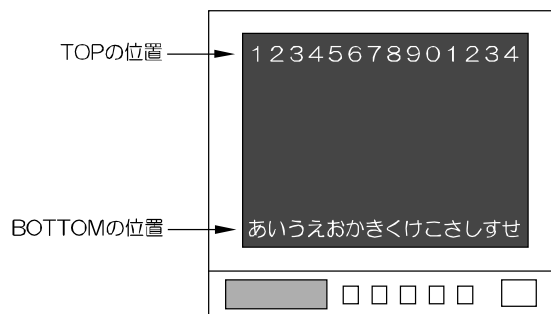
※工場出荷時設定:全カメラ入力 BOTTOM

※日時はタイトルの反対側に表示します。

```

TITLE POSITION

CH.          CH.
▷01 BOTTOM    09 BOTTOM
02 BOTTOM    10 BOTTOM
03 BOTTOM    11 BOTTOM
04 BOTTOM    12 BOTTOM
05 BOTTOM    13 BOTTOM
06 BOTTOM    14 BOTTOM
07 BOTTOM    15 BOTTOM
08 BOTTOM    16 BOTTOM
ESCAPE      ESCAPE
    
```



メニュー設定

6-2.INPUT CHANNEL

カメラ入力 1～32 ヘタイトルの表示/非表示をそれぞれ設定します。

CH.01～16, 17～32 で画面が分かれ、全部で 2 画面あります。

画面を進めたり戻したりするには、カーソル(▷)を 01 に合わせて⇧ボタンを押すか、ESCAPE に合わせて⇩ボタンを押すなどします。

値	動作
ON	そのカメラ入力にタイトルを表示する
OFF	そのカメラ入力にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定:全カメラ入力 ON

TITLE	INPUT CHANNEL	CH.	CH.
▷ 01	ON	09	ON
02	ON	10	ON
03	ON	11	ON
04	ON	12	ON
05	ON	13	ON
06	ON	14	ON
07	ON	15	ON
08	ON	16	ON
ESCAPE		ESCAPE	

注意 ●カメラ入力が ON になっていても、それを表示する出力が OFF になっていると、タイトルは表示されません。(6-3.OUTPUT CHANNEL 参照)

6-3.OUTPUT CHANNEL

映像出力 1～16 へのタイトルの表示/非表示をそれぞれ設定し

値	動作
ON	その映像出力にタイトルを表示する
OFF	その映像出力にタイトルを表示しない

※工場出荷時設定:全出力 ON

TITLE	OUTPUT CHANNEL	CH.	CH.
▷ 01	ON	09	ON
02	ON	10	ON
03	ON	11	ON
04	ON	12	ON
05	ON	13	ON
06	ON	14	ON
07	ON	15	ON
08	ON	16	ON
ESCAPE		ESCAPE	

注意 ●映像出力が ON になっていても、表示されているカメラ入力が OFF になっていると、タイトルは表示されません。(6-2.INPUT CHANNEL 参照)

6-4.TOP ADJUST

タイトル表示位置 TOP の微調整です。
01～16 の 16 段階に調整できます。

※工場出荷時設定:08

※全カメラ入力および全出力に共通の設定です。

TITLE
POSITION
INPUT CHANNEL
OUTPUT CHANNEL
▷ TOP ADJUST-----08
BOTTOM ADJUST-----08
ESCAPE

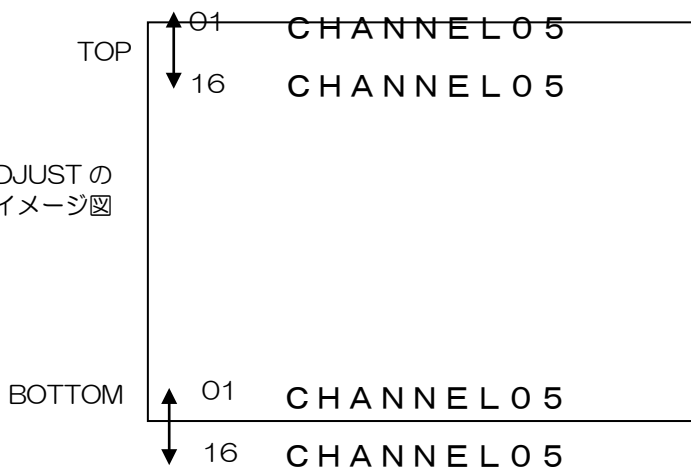
6-5.BOTTOM ADJUST

タイトル表示位置 BOTTOM の微調整です。
01～16 の 16 段階に調整できます。

※工場出荷時設定:08

※全カメラ入力および全出力に共通の設定です。

TOP ADJUST および BOTTOM ADJUST の
イメージ図



注意 ●日付・時刻の表示位置は微調整できません。

メニュー設定

7.PASSWORD

フロント ボタンでの割り当て操作と MENU ボタン操作のロック ON/OFF およびパスワード番号を設定します。

※操作中のパスワードの入力方法は、22 ページ ■パスワードによるロックをご参照ください。

7-1.OPERATION

フロント ボタンの操作をパスワードによりロックします。

値	動作
ON	操作にパスワードの入力が必要
OFF	操作にパスワードは不要

※工場出荷時設定:OFF

7-2.MENU

MENU ボタンの操作をパスワードによりロックします。

値	動作
ON	操作にパスワードの入力が必要
OFF	操作にパスワードは不要

※工場出荷時設定:OFF

7-3.NUMBER

パスワード番号を設定します。

6ケタの数字で、000000～999999の範囲で設定できます。
←,→ボタンで点滅を移動させ、↑,↓ボタンで各ケタの値を変更します。

6ケタ目が点滅しているときに ENTER ボタンを押すとパスワードが決定します。

※工場出荷時設定:111111

```
PASSWORD
▷OPERATION-----OFF
MENU-----OFF
NUMBER-----111111
ESCAPE
```

```
PASSWORD
OPERATION-----OFF
MENU-----OFF
▷NUMBER-----111111
ESCAPE
```

8.SERIAL INTERFACE

RS-232C および RS-485 通信に関する設定をします。

8-1.SLAVE ADDRESS

RS-485 使用時の号機設定です。(00～31)

それぞれの MSW-3216A ごとにメニューを表示して設定します。

※工場出荷時設定:00

注意 ●RS-232C,RS-485 を同時に使用することはできません。

```
SERIAL INTERFACE
▷SLAVE ADDRESS----00
DATA RATE-----9600
PARITY-----EVEN
STOP BIT-----1
DATA LENGTH-----8
ESCAPE
```

8-2.DATA RATE

RS-232C および RS-485 通信時のデータ レートを設定します。

4800/9600/19200/38400(bps)より選択します。

※工場出荷時設定:9600(bps)

8-3.PARITY

RS-232C および RS-485 通信時のパリティを設定します。

ODD/EVEN/NONEより選択します。

※工場出荷時設定:EVEN

8-4.STOP BIT

RS-232C および RS-485 通信時のストップ ビットを設定します。

1 または 2 より選択します。

※工場出荷時設定 1

8-5.DATA LENGTH

RS-232C および RS-485 通信時のデータ長を設定します。

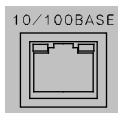
7 または 8 より選択します。

※工場出荷時設定 8

メニュー設定

9.ETHERNET

イーサネットに関する設定をします。
※表示に時間がかかります。(約 3 秒)



```

ETHERNET
▷IP  ADDR-192. 168. 001. 003
GATEWAY-192. 168. 001. 002
ACTIVE--192. 168. 001. 004
SUBNET MASK-----C
                255. 255. 255. 000
PORT  NUMBER-----10001
CONNECTION TRY----OFF
MAINTENANCE
ESCAPE
    
```

9-1.IP ADDR

MSW-3216A 本体のローカル(プライベート)IP アドレスを設定します。

←,→ボタンで点滅を左右に移動させ、↑,↓ボタンで値を変更させます。
(0～9 のテンキーでは入力できません)

9-2.GATEWAY

MSW-3216A 本体のデフォルト ゲートウェイを設定します。

- MSW-3216A 本体をクライアントとして使用する場合には、属するLANのデフォルト ゲートウェイ アドレスを設定します。
- MSW-3216A 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

←,→ボタンで点滅を左右に移動させ、↑,↓ボタンで値を変更させます。
(0～9 のテンキーでは入力できません)

9-3.ACTIVE

通信先のアドレスを設定します。

- MSW-3216A 本体をクライアントとして使用する場合には、通信先の IP アドレスを設定します。
- MSW-3216A 本体をサーバーとして使用する場合には、設定の必要はありません。

←,→ボタンで点滅を左右に移動させ、↑,↓ボタンで値を変更させます。
(0～9 のテンキーでは入力できません)

9-4.SUBNET MASK

サブネット マスクを設定します。

ほとんどの場合、工場出荷時のクラス “C” のままご使用いただけます。
※工場出荷時設定:C

9-5.PORT NUMBER

MSW-3216A 各機と専用ソフト用のパソコンに共通のポート番号を任意で決めて設定します。

←,→ボタンで点滅を左右に移動させ、↑,↓ボタンで値を変更させます。
(0～9 のテンキーでは入力できません)
※工場出荷時設定:10001

9-6.CONNECTION TRY

MSW-3216A 本体のクライアント/サーバーを設定します。

値	動作	備考
OFF	サーバーとして使用	クライアント(専用ソフト)からのソケット接続要求をリスン状態で待機する
ON	クライアントとして使用	サーバー(専用ソフト)に対しソケット接続が確立するまで要求を続ける

※工場出荷時設定:OFF

メニュー設定

9-7.MAINTENANCE

メンテナンス 項目です。

9-7-1.KEEP ALIVE

通信障害を回避するため、接続を自動的に解除する機能を設定します。

値	動作
ON	有効(推奨)
OFF	無効

※工場出荷時設定:ON

※通信障害は、電源断、ケーブル外れ、ソケットのハーフコネクション等によるものです。

ETHERNET

```
▷IP ADDR-192. 168. 001. 001
GATEWAY-000. 000. 000. 000
ACTIVE--000. 000. 000. 000
SUBNET MASK-----C
                255. 255. 255. 000
PORT NUMBER-----10001
CONNECTION TRY---OFF
MAINTENANCE
ESCAPE
```

9-7-2.TIME REGISTER

接続を自動的に解除するタイムアウト値を 2~65(秒)の間で設定します。

“KEEP ALIVE” が “ON” のときタイムアウト値は有効です。

※工場出荷時設定:45(秒)

ETHERNET CONNECTION

```
▷KEEP ALIVE-----ON
TIME REGISTER----45SEC.
MAC   *. *. *. *. *. *.
ESCAPE
```

9-7-3.MAC

この項目は本機の MAC アドレス確認用です。16 進数で表示され本体別に異なります。
設定できません。

専用ソフトの準備

専用ソフトにより MSW-3216A の画面表示の操作や本体メニュー項目と同じ設定をすることができます。

※各カメラ入力へのタイトル入力専用ソフトのみからおこなうことができます。

※パソコンの動作環境は 50 ページ **必要なシステム構成** をご参照ください。

■ダウンロード

http://www.n-artics.co.jp/d_load/softback.htm

上記 URL のダウンロード ページより、MSW-3216A 専用ソフトの ZIP ファイルをパソコンにダウンロードして保存します。ZIP ファイルの中の“MSW3216ASE.exe”を解凍します。

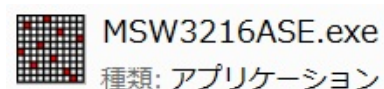
※専用ソフトはバージョン アップする場合がありますので、バージョンをご確認いただき、常に最新の専用ソフトをダウンロード、保存してください。

※RS-232C/RS-485/LAN コマンド表は、アルテックス WEB サイトよりダウンロードできますのでご利用ください。

http://www.n-artics.co.jp/d_load/d_load.htm

■インストール方法

“MSW3216ASE.exe”をパソコンのローカル ディスク内に保存します。
デスクトップに“MSW3216ASE.exe”のショートカット アイコンを作成しておくと便利です。



■起動画面

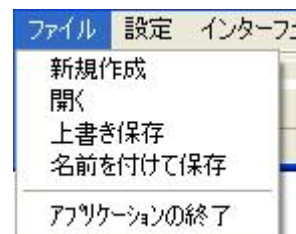
“MSW3216ASE.exe”を起動させると、右図の画面が表示されます。



■ファイル

専用ソフトで設定した各種設定内容は、複数のファイルでパソコンに保存できます。

- 新規作成
各項目を出荷時または未入力の状態に戻すことができます。
- 開く
保存されているファイルを開いて、ソフトに設定内容を読み込みます。
- 上書き保存
開いているファイルの内容を変更して上書き保存します。
- 名前を付けて保存
設定内容を任意の名前を付けて保存します。拡張子は“dat”です。
- アプリケーションの終了
専用ソフト(アプリケーション)を終了します。

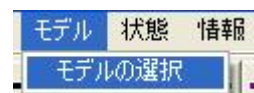


■モデルの選択

ご使用になる機種を選択してください。

専用ソフトは別機種の MSW-4816A、MSW-6416A と共通です。

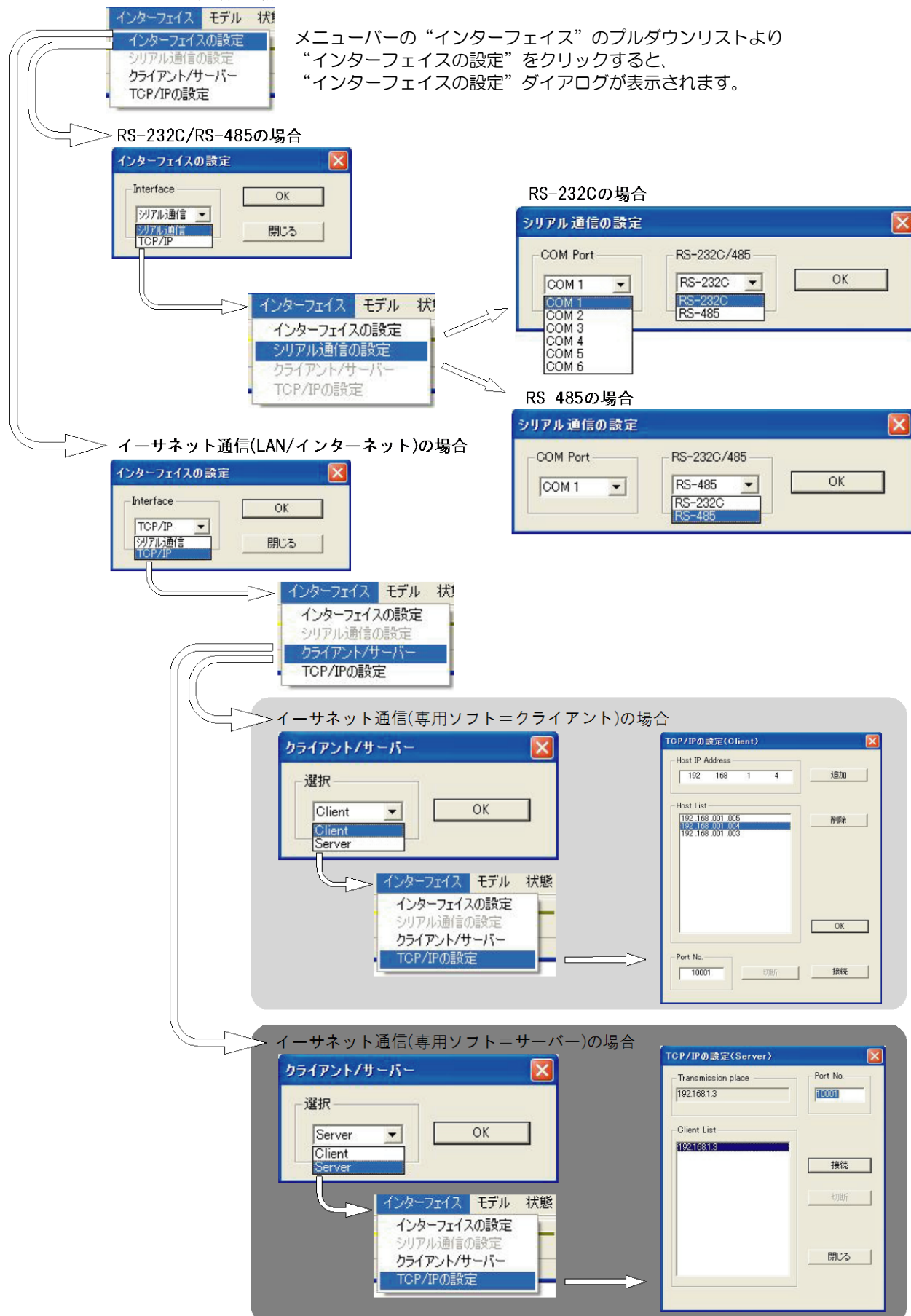
本取扱説明書では、MSW-3216A を選択したときの操作方法を説明しています。



専用ソフトの準備

■インターフェイス

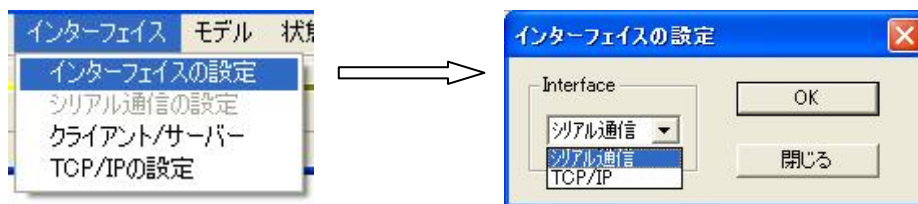
専用ソフトと MSW-3216A で送受信するとき、システムの種類によってこの設定を変更する必要があります。
(7 ページ システムの種類 参照)



専用ソフトの準備

●インターフェイスの設定

通信方式を RS-232C/RS-485 または TCP/IP から選択します。



●シリアル通信の設定

通信方式を RS-232C または RS-485 から選択します。



◆COM Port

使用するパソコンの Port に合わせてください。COM1 が特に使用されていないければ、通常は COM1 を使用してください。

◆RS-232C/485

RS-232C または RS-485 を選択してください。

※RS-232C を選択したときは、各設定項目の“スレーブアドレス”が無効になります。

※RS-485 を選択したときは、各設定項目の“スレーブアドレス”が有効になりますので、設定および操作する号機をリストより選択してから設定してください。

“スレーブアドレス”に“Broadcast”を選択して設定すると各号機に一齐送信となります。

注意 ●カスケード接続内に本機以外の機器があるときは一齐送信ができません。
●一齐送信時はアンサーバックがありません。

●クライアント/サーバー

通信方式を TCP/IP としたとき、専用ソフトのパソコンをクライアントまたはサーバーから選択して設定します。

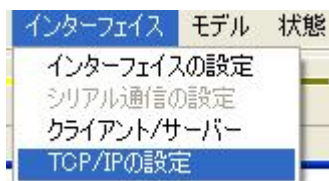


値	動作	備考
Client	クライアントとして使用	サーバー (MSW-3216A 本体) に対しソケット接続が確立するまで要求を続ける
Server	サーバーとして使用	クライアント (MSW-3216A 本体) からのソケット接続要求をリスン状態で待機する

専用ソフトの準備

●TCP/IP の設定

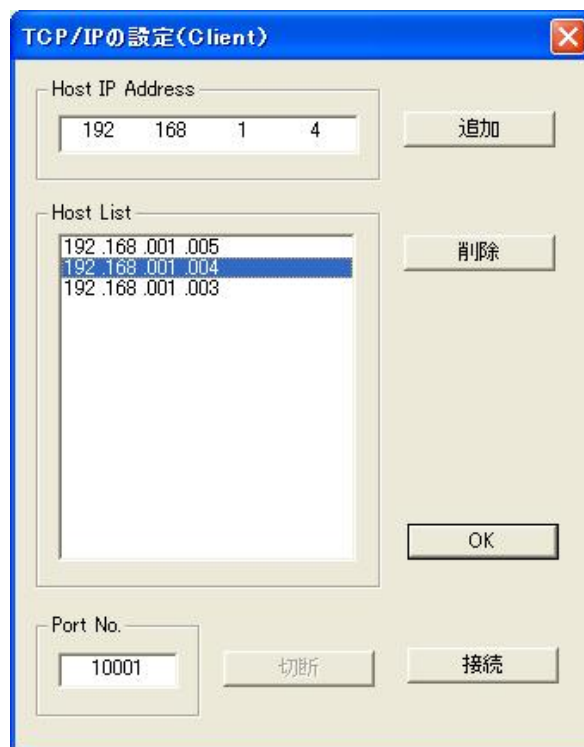
通信方式を TCP/IP としたとき、通信先のアドレスなどを設定します。
クライアント/サーバーの設定により設定ダイアログが異なります。



◆TCP/IP の設定(Client)

- ①接続したい MSW-3216A のメニューで設定したポート番号を“Port No.”に入力します。
- ②各 MSW-3216A の IP アドレスを“Host IP Address”に入力して“追加”をクリックすると、“Host List”に表示されます。
- ③“Host List”から接続したい MSW-3216A の IP アドレスをダブルクリックすると“Host IP Address”に表示されますので、“接続”ボタンをクリックして接続してください。
- ④“OK”ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をします。専用ソフトを終了するときは、このダイアログを再び表示させて“切断”をクリックしてから終了してください。

※他の MSW-3216A と接続する場合は、“切断”をクリックしてから③の設定をしてください。



◆TCP/IP の設定(Server)

- ①接続したい MSW-3216A のメニューで設定したポート番号を“Port No.”に入力します。
- ②“接続”ボタンをクリックしてリスン状態で待つと、“Client List”に各 MSW-3216A の IP アドレスが表示されます。
- ③接続したいアドレスをダブルクリックすると“Transmission place”に表示され決定します。
- ④“閉じる”ボタンをクリックしてダイアログを閉じてから、各操作をします。専用ソフトを終了するときは、このダイアログを再び表示させて“切断”をクリックしてから終了してください。

※他の MSW-3216A と接続する場合は、“切断”をクリックしてから③の設定をしてください。

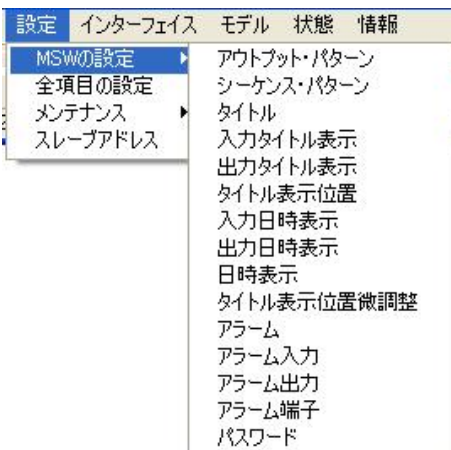


専用ソフトの操作方法

■設定



メニューバー“設定”内の“MSW の設定”のプルダウン リストから設定したい項目をクリックすると各シートが表示されます。起動画面の 15 個のボタンは、プルダウン リストと同じ機能の設定項目です。



●MSW の設定

1.アウトプット・パターン

“Pattern no.” の値は用途によって使い分けます。

	値	用途
1-1.Free	Free	出力:入力を随時設定して、即、画面に表示させたいとき フロント ボタンでの出力：入力割り当てと同じ操作をしたいとき (切換えボタン→設定ボタン)
1-2.プリセット	01～64	出力:入力をパターンとしてプリセットしておきたいとき(設定ボタン) プリセットしたパターンを画面に表示させたいとき(切換えボタン)

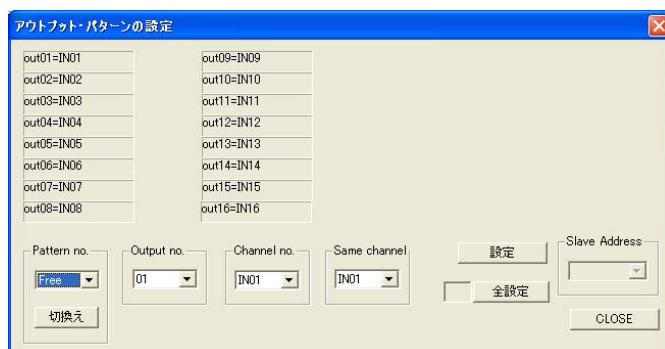
1-1.Free

① “Pattern no.” を “Free” にして “**切換え**” ボタンをクリックして、本体を Free モードにします。

②映像出力“Output no.” 01～16 に“Channel no.” IN01～32 または SP01～64 を割り当てます。

値	出力状態
IN01～IN32	カメラ入力 01～32 の固定出力
SP01～SP64	プリセットされたシーケンス パターン 01～64 の出力 (次ページ 2.シーケンス パターン 参照)

※ “Same channel” は出力 1～16 をすべて同じ表示にします。



③ “**設定**” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信され画面が切り替わります。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

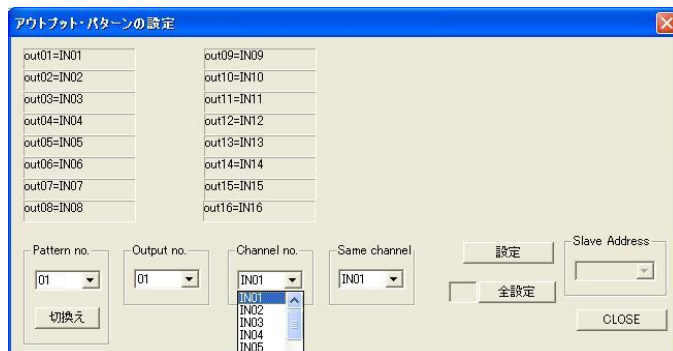
1-2.プリセット

① “Pattern no.” に 01～64 の作成したいパターン番号を設定します。

②映像出力“Output no.” 01～16 に“Channel no.” IN01～32 または SP01～64 を割り当てます。

値	出力状態
IN01～IN32	カメラ入力 01～32 の固定出力
SP01～SP64	プリセットされたシーケンス パターン 01～64 の出力 (次ページ 2.シーケンス パターン 参照)

※ “Same channel” は出力 1～16 をすべて同じ表示にします。



③ “**設定**” ボタンをクリックすると、選択中のパターン番号の設定が本体に送信・保存されます。
(画面には表示されません)
“**切換え**” ボタンをクリックすると、選択中のパターン番号の設定が画面に表示されます。
“**全設定**” ボタンをクリックすると、01～64 全アウトプット パターンの設定が本体に送信・保存されます。

専用ソフトの操作方法

2.シーケンス・パターン

シーケンス パターンをプリセットします。

① “Pattern no.” に 01～64 の作成したいパターン番号を設定します。

②カメラ入力 “Channel no.” 01～32 に “Sequence time” 00～60(秒)を設定します。
00 はそのカメラ入力をスキップします。
※ “Same time” はカメラ入力 1～32 をすべて同じ時間にします。

シーケンス・パターンの設定

ch.01=03	ch.09=03	ch.17=03	ch.25=03				
ch.02=03	ch.10=03	ch.18=03	ch.26=03				
ch.03=03	ch.11=03	ch.19=03	ch.27=03				
ch.04=03	ch.12=03	ch.20=03	ch.28=03				
ch.05=03	ch.13=03	ch.21=03	ch.29=03				
ch.06=03	ch.14=03	ch.22=03	ch.30=03				
ch.07=03	ch.15=03	ch.23=03	ch.31=03				
ch.08=03	ch.16=03	ch.24=03	ch.32=03				

Pattern no. [01] Channel no. [01] Sequence time [03] Same time [02] Slave Address []

[設定] [全設定] [CLOSE]

③ “設定” ボタンをクリックすると、選択中のパターン番号の設定が本体に送信されます。
“全設定” ボタンをクリックすると、01～64 全シーケンス パターンの設定が本体に送信されます。

3.タイトル

モニターに表示するタイトルを設定します。

①カメラ入力 “Channel no.” 01～32 を選択し、それぞれ “Title” の入力エリアに入力します。

※最大 14 文字まで入力できます。
※JIS 第一,第二水準+拡張文字の 7,320 文字を使用できます。

タイトルの設定

ch.01=	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4	ch.09=	
ch.02=	カメラ 2	ch.10=	
ch.03=	カメラ 3	ch.11=	
ch.04=	玄 関	ch.12=	
ch.05=	会 議 室	ch.13=	
ch.06=	階 段	ch.14=	
ch.07=		ch.15=	
ch.08=		ch.16=	

Channel no. [05] Title [会 議 室] Slave Address []

[設定] [全設定] [CLOSE]

注意 ●半角英数および半角カタカナは使用できません。
●スペースも全角を使用してください。
●次の 4 記号は ROM に含まれていないため入力できません。

JIS X0208 記号 0x2131 “—”
記号 0x2132 “_”
拡張文字 0x7c7b “┐”
拡張文字 0x7c7c “┌”

② “設定” ボタンをクリックすると、選択中のカメラ入力の設定が本体に送信されます。
“全 ch.設定” ボタンをクリックすると、01～32 全カメラ入力の設定が本体に送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。
※タイトルの入力専用ソフトのみ可能です。本体メニューでは入力できません。

4.入力タイトル表示

カメラ入力 1～32 ヘタイトルの表示/非表示をそれぞれ設定します。

①カメラ入力 “Channel no.” 01～32 を選択し、それぞれ “Display” で表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	タイトルを表示する
OFF	タイトルを表示しない

※ “Same display” はカメラ入力 1～32 をすべて同じ表示にします。

入力チャンネルのタイトル表示の設定

in01=ON	in09=ON	in17=ON	in25=ON				
in02=ON	in10=ON	in18=ON	in26=ON				
in03=ON	in11=ON	in19=ON	in27=ON				
in04=ON	in12=ON	in20=ON	in28=ON				
in05=OFF	in13=ON	in21=ON	in29=ON				
in06=ON	in14=ON	in22=ON	in30=ON				
in07=ON	in15=ON	in23=ON	in31=ON				
in08=ON	in16=ON	in24=ON	in32=ON				

Channel no. [05] Display [OFF] Same display [OFF] Slave Address []

[設定] [CLOSE]

② “設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

注意 ●カメラ入力が ON になっていても、それを表示する出力が OFF になっていると、タイトルは表示されません。(次ページ 5.出力タイトル表示 参照)

専用ソフトの操作方法

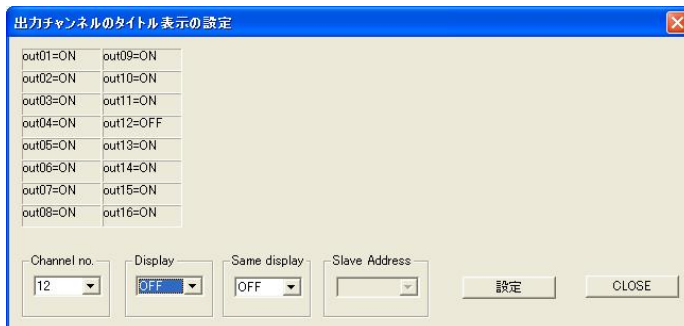
5.出力タイトル表示

映像出力 1～16 へのタイトルの表示/非表示をそれぞれ設定します。

- ①映像出力 “Channel no.” 01～16 を選択し、それぞれ “Display” で表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	タイトルを表示する
OFF	タイトルを表示しない

※ “Same display” は映像出力 1～16 をすべて同じ表示にします。



- ② “設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

注意 ●映像出力が ON になっていても、表示されているカメラ入力 が OFF になっていると、タイトルは表示されません。(前ページ 4.入力タイトル表示 参照)

6.タイトル表示位置

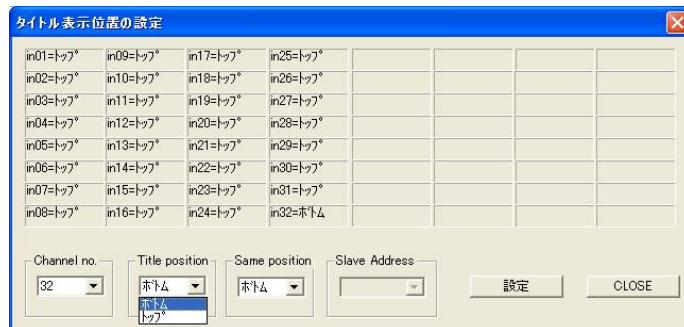
モニターへのタイトルの表示位置をそれぞれ設定します。

- ①カメラ入力 “Channel no.” 01～32 を選択し、それぞれ “Position” でタイトル位置を設定します。

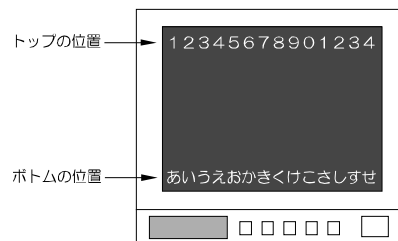
値	動作
ボトム	画面下部中央に表示する
トップ	画面上部中央に表示する

※ “Same position” はカメラ入力 1～32 をすべて同じ位置にします。

※日時はタイトルの反対側に表示されます。



- ② “設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。



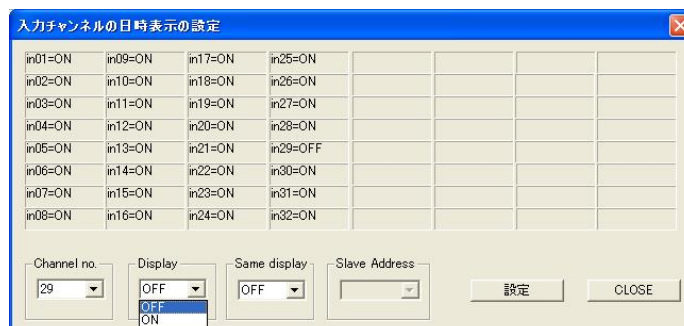
7.入力日時表示

カメラ入力 1～32 へ日時の表示/非表示をそれぞれ設定します。

- ①カメラ入力 “Channel no.” 01～32 を選択し、それぞれ “Display” で表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	日時を表示する
OFF	日時を表示しない

※ “Same display” はカメラ入力 1～32 をすべて同じ表示にします。



- ② “設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

注意 ●カメラ入力が ON になっていても、それを表示する出力が OFF になっていると、日時は表示されません。(次ページ 8.出力日時表示 参照)

専用ソフトの操作方法

8.出力日時表示

映像出力 1～16 への日時の表示/非表示をそれぞれ設定します。

- ①出力 “Channel no.” 01～16 を選択し、それぞれ “Display” で表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	日時を表示する
OFF	日時を表示しない

※ “Same display” は映像出力 1～16 をすべて同じ表示にします。

- ② “設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

注意 ●映像出力が ON になっていても、表示されているカメラ入力が OFF になっていると、
日時は表示されません。(前ページ 7.入力日時表示 参照)

9.日時表示

画面に表示する日時を設定します。

◆日時の調整

Year(年)/Month(月)/Day(日)/Hour(時)/Minute(分)/Second(秒)

それぞれ数値を選択して、それぞれに対する “設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

◆30Sec. adjust

“設定” ボタンをクリックすると、画面の秒の値が 00 になります。

※秒の値が 30～59 のときは、1 分進んで 00 秒になります。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

◆Display range

日時の表示範囲を設定します。

※全カメラ入力および全出力に共通の設定です。

値	表示例
年月日 時分秒	08. 07. 24 14 : 55 : 36
年月日 時分	08. 07. 24 14 : 55
年月日	08. 07. 24
月日 時分秒	07. 24 14 : 55 : 36
月日 時分	07. 24 14 : 55
月日	07. 24
時分秒	14 : 55 : 36
時分	14 : 55

“設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

◆Display size

日時の表示サイズを設定します。

※全カメラ入力および全出力に共通の設定です。

値	動作
Normal	標準文字サイズ
Small	小さい文字サイズ

“設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

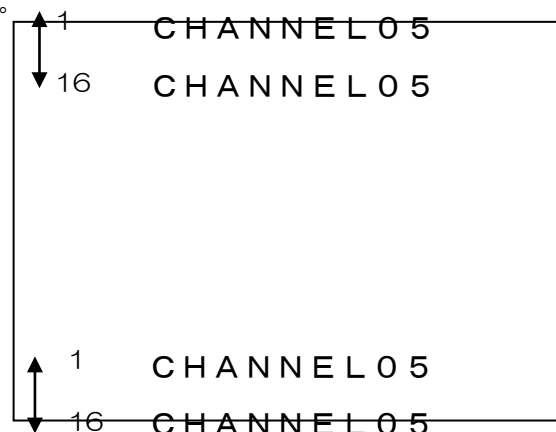
※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

専用ソフトの操作方法

10. タイトル表示位置微調整

タイトルの表示位置をトップ/ボトムそれぞれに微調整します。
※全カメラ入力および全出力に共通の設定です。

それぞれ数値を選択して、それぞれに対する“設定”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。
※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OKをクリックしてください。



11. アラーム

アラーム動作に関して設定します。

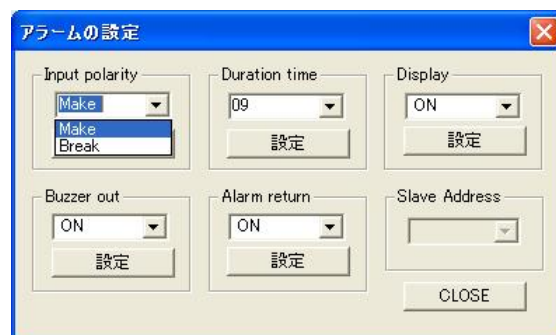
◆Input polarity

センサ入力信号の検出接点を設定します。

値	動作
Make	センサ等が閉じたとき検出する ノーマル オープン
Break	センサ等が開いたとき検出 ノーマル クローズ

“設定”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OKをクリックしてください。



◆Duration time

センサ信号入力時に、アラーム動作を保持する時間を設定します。01～99(秒)の間で設定します。

“設定”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OKをクリックしてください。

◆Display

アラーム動作保持期間中、アラーム動作画面左下への“ALARM”の表示/非表示を設定します。

値	動作
ON	画面左下に“ALARM”を表示する
OFF	画面左下に“ALARM”を表示しない

“設定”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OKをクリックしてください。

◆Buzzer out

アラーム動作保持期間中、ブザーON/OFFの設定をします。

値	動作
ON	ブザーを鳴らす
OFF	ブザーを鳴らさない

“設定”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OKをクリックしてください。

◆Alarm return

アラーム動作保持期間終了後のアラーム動作画面の映像を設定します。

値	動作
ON	アラーム前の表示に戻る
OFF	アラーム保持期間中の映像表示のまま

“設定”ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success”のアンサーが返ってきますので、OKをクリックしてください。

専用ソフトの操作方法

12.アラーム入力

背面の SENSOR IN コネクタのセンサ入力 1～32 にカメラ入力 1～32 を設定します。

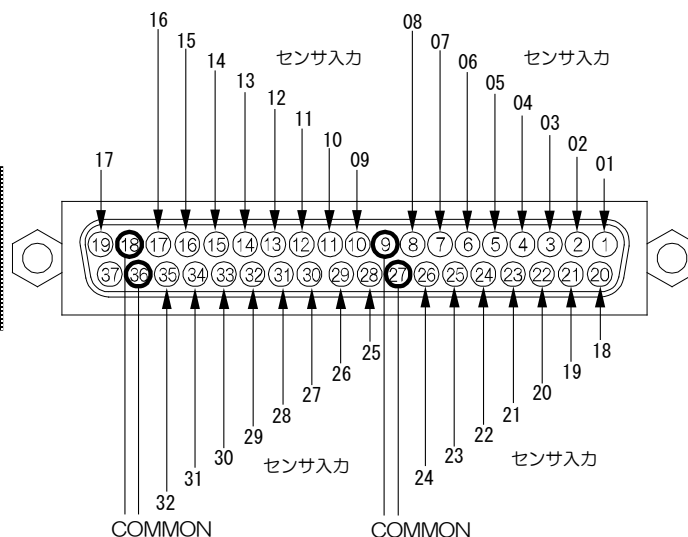
- ①センサ入力 “Connector no.” 01～32 を選択し、それぞれにカメラ入力 “Channel no.” 01～32 を設定します。

※ “Same Channel” はセンサ入力 1～32 をすべて同じカメラ入力にします。

- ② “設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

注意 ● “Connector no.” 01～32 はセンサ入力です。コネクタの PIN 番号ではないのでご注意ください。



13.アラーム出力

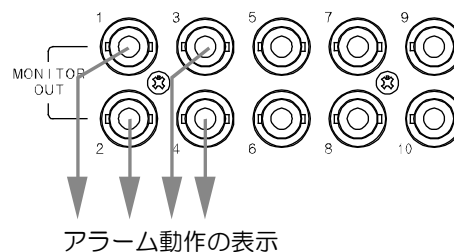
カメラ入力 1～32 にセンサ信号入力があったとき、各映像出力 1～4 のアラーム動作の ON/OFF をそれぞれ設定します。

- ①カメラ入力 “Channel no.” 01～32 を選択し、それぞれに映像出力 “Output1” ～ “Output4” の ON/OFF を設定します。

値	動作
ON	映像出力がアラーム動作する
OFF	映像出力がアラーム動作しない

- ② “設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。



注意 ● “Channel no.” 01～32 はカメラ入力です。センサ入力ではないのでご注意ください。
●12.アラーム入力で、センサ入力にそのカメラ入力の設定されていない場合は、13.アラーム出力で ON になっていても、アラーム動作はおこないません。

専用ソフトの操作方法

14. アラーム端子

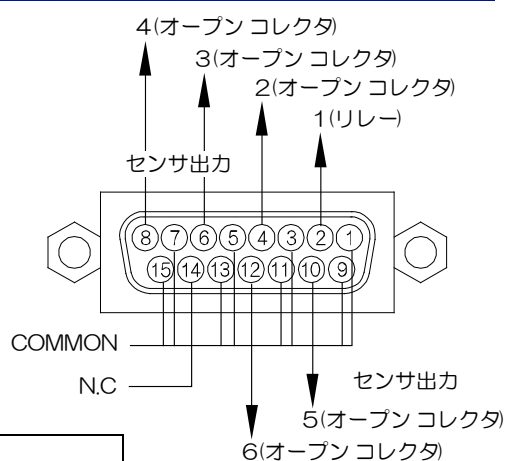
カメラ入力 1～32 にセンサ信号入力があったとき、SENSOR OUT コネクターの各センサ出力 1～6 の信号出力の ON/OFF をそれぞれ設定します。

- ①カメラ入力 “Channel no.” 01～32 を選択し、それぞれにセンサ出力 “Signal1” ～ “Signal6” の ON/OFF を設定します。

値	動作
ON	センサ出力が信号出力する
OFF	センサ出力が信号出力しない

- ② “設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。



PIN	動作
2	センサ出力 1 メイク接点(リレー)DC24V 500mA 以下
4	センサ出力 2 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
6	センサ出力 3 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
8	センサ出力 4 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
10	センサ出力 5 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
12	センサ出力 6 メイク接点(オープン コレクタ)DC12V 100mA 以下
14	N.C 何も接続しないでください
PIN 1,3,5,7,9,11,13,15 は COMMON	

- 注意
- “Signal1” ～ “Signal6” はセンサ出力です。コネクターの PIN 番号ではないのでご注意ください。
 - “Channel no.” 01～32 はカメラ入力です。センサ入力ではないのでご注意ください。
 - 12.アラーム入力で、センサ入力にそのカメラ入力の設定されていない場合は、14.アラーム端子で ON になっていても、信号出力はありません。

専用ソフトの操作方法

15.パスワード

フロント ボタンでの割り当て操作と MENU ボタン操作のロック ON/OFF およびパスワード番号を設定します。
※操作中のパスワードの入力方法は、22 ページ ■パスワードによるロックをご参照ください。

◆Operation

フロント ボタンの操作をパスワードによりロックします。

値	動作
ON	操作にパスワードの入力が必要
OFF	操作にパスワードは不要

値を選択して、“設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

◆Menu

MENU ボタンの操作をパスワードによりロックします。

値	動作
ON	操作にパスワードの入力が必要
OFF	操作にパスワードは不要

値を選択して、“設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。

◆Number

パスワード番号を設定します。6 ケタの数字で、000000～999999 の範囲で設定できます。

値を入力して、“設定” ボタンをクリックすると、本体に設定が送信されます。

※正常に送信すると、“Success” のアンサーが返ってきますので、OK をクリックしてください。



●全項目の設定

全項目設定ボタンをクリックすると、各設定内容を一括で送信します。送信には時間がかかります。



●メンテナンス(設定項目の読み込み)

読み込みボタンをクリックすると MSW-3216A 本体の設定内容を専用ソフトに読み込みます。

読み込みには時間がかかります。



●スレーブ アドレス

インターフェイスで RS-485 の使用を設定したときのみ有効になります。
(38 ページ ●シリアル通信の設定 参照)

接続したい MSW-3216A の号機(00～31,Broadcast)を一括で指定することにより、各設定画面の“Slave Address”の項目にあらかじめ号機(00～31,Broadcast)が入力された状態になります。

- 注意 ●Broadcast 設定時は、入出力の状態は表示できません。
(次ページ ■状態 参照)

●RS-232C と RS-485 を同時に使用することはできません。



専用ソフトの操作方法

■状態

カメラ映像入力 1～32 と映像出力 1～16 の割り当てを確認できます。

- 注意**
- RS-485 使用時は、確認したい号機(00～31)とあらかじめ接続してください。
(前ページ ●スレーブ アドレス 参照)
 - イーサネット接続された MSW-3216A の IP アドレスを指定して入出力の状態を確認する場合は、メニューバー“インターフェイス”の“TCP/IP の設定”で通信先の IP アドレスと接続してください。
(26 ページ ●TCP/IP の設定 参照)

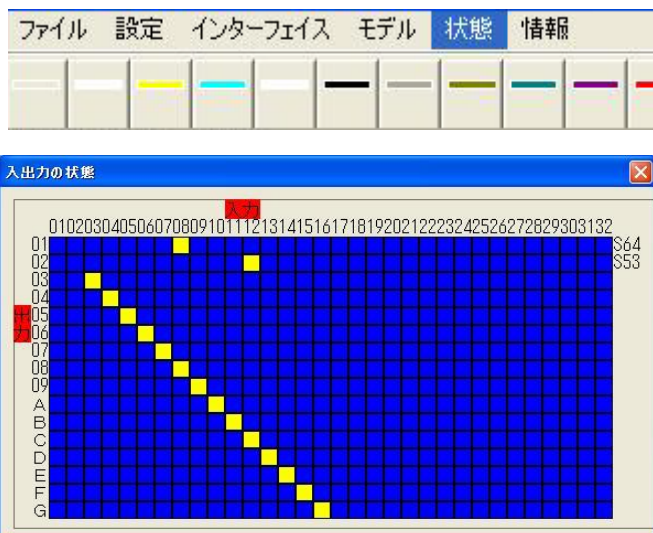
メニューバーの“状態”をクリックすると“入出力の状態”画面が表示されます。

タテ軸の映像出力 1～G に対するヨコ軸のカメラ入力 1～32 の割り当て状態を確認できます。

黄色が点灯しているところが現在の割り当て状態です。

黄色が横に移動しているときは、その出力がシーケンス表示している場合です。

右図の例では、出力 1 がシーケンス パターン 64 の表示、出力 2 がシーケンス パターン 53 の表示となっています。



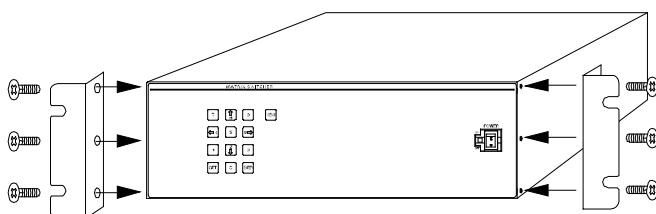
- 注意**
- エラー メッセージ“No Connect”が表示される場合は、エラー メッセージの OK ボタンをクリックし、入出力の状態画面の右上の図をクリックして画面を閉じてください。
専用ソフトから本体にコマンド信号を送り、返されるアンサーにより入出力の状態画面を表示していますので、次の点をお確かめください。
 - ・本体の電源が ON になっているか
 - ・正しく接続されているか

ラック マウント方法

19 インチ ラック (JIS/EIA) への本体の据え付け方法です。

ラック マウント金具につきましては、次ページの**製品仕様** ■別売品 をご参照ください。

- 注意**
- 機器の放熱効果を妨げないために、通風孔(側面、底面)をふさがないように設置してください。
 - 周囲温度 0～40℃の環境で使用するため、他の機器とのすき間を十分確保するように据え付けてください。



製品仕様

- 映像入力方式 NTSC 方式準拠
- カメラ映像入力 VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 32 系統 BNC 端子
- モニター映像出力 VBS,VS 1.0Vp-p 75Ω終端 不平衡 16 系統 BNC 端子
- センサ信号入力 D-Sub37 ピン(メス) 32 系統 無電圧メイク/ブレイク接点(TTL レベル)
パルス幅:100msec.以上 パルス間隔:200msec.以上
COMMON 4 系統
- アラーム信号出力 D-Sub15 ピン(メス)
リレー1 系統 メイク接点 DC24V 500mA 以下
オープン コレクタ5 系統 DC12V 100mA 以下
- RS-232C コネクター D-Sub9 ピン(オス) 1 系統 (RXD,TXD,COMMON) RS-232C 信号規格準拠
- RS-485 コネクター モジュラー ジャック(RJ11)×2(ループ スルー) 1 系統
RS-485 信号規格準拠(Half Duplex)
- イーサネット RJ-45(TCP/IP) 1 系統
- 入出力の状態表示 入力と出力の対応を表示する 映像出力 1 のみ表示
- メニュー表示 映像出力 1 のみ表示
- オート シークンス 各映像出力(1~16)に設定可 切換え時間は 0~99 秒に可変
- アラーム動作 映像出力 1~4 のみ動作可 映像切換え,ALARM 文字表示,ブザー音
- アラーム保持時間 約 1~99 秒に可変
- センサ入力履歴 最大 960 件(イベント No.,カメラ入力,日付,時刻)を記録
- タイトル挿入 最長 14 文字まで 縁どりあり
JIS 第一,第二水準+拡張文字の 7,320 文字入力可(JIS X0208-1990)
- タイトル位置 画面中央下部/上部 位置微調整可
- 日時表示 年,月,日 時:分:秒 画面中央上部/下部(タイトルの反対側)
- パスワード フロント ボタン操作・メニュー操作に対してパスワードによりロックする機能
- 使用温湿度 0~40℃ 10~90%RH(但し,結露無きこと)
- 電源電圧 AC100V±10% 50/60Hz
- 消費電力 約 15W
- 外形寸法 420(W)×300(D)×132(H) (mm) (但し,ゴム足,突起部除く)
- AC 入力ケーブル長 約 1.7(m)
- 質量 約 5.0kg
- 付属品 取扱説明書(本書)
- 別売品
 - ・ラック マウント金具

キット型番	ラック規格	構成
RMI-J3-421	JIS	小金具×2
RMI-E3-421	EIA	小金具×2

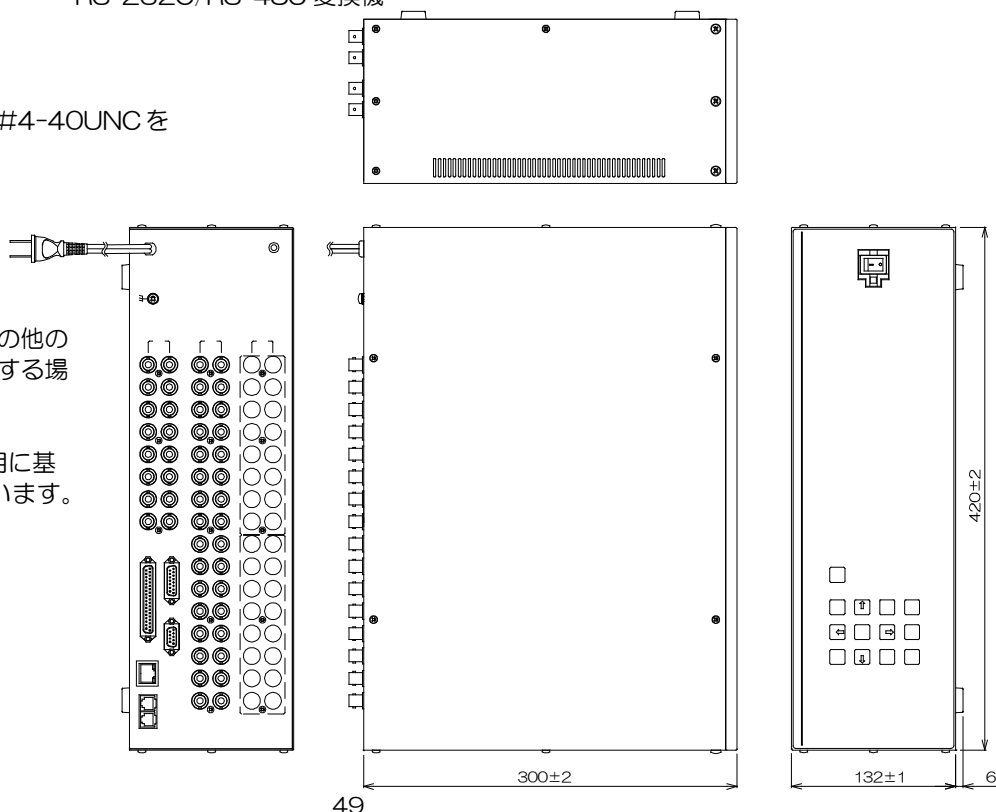
- ・リモート コントローラー
- ・RS-232C/RS-485 変換機

■外観図

※D-Sub 端子はインチネジ#4-40UNC を使用しています。

※仕様および外観は、改良その他の理由により、予告なく変更する場合がございます。

※本機は日本国内のみの使用に基づいて設計・製造されています。



故障かなと思う前に…

症 状	確 認 事 項
映像が出ない	●電源ケーブルがコンセントからはずれていませんか ●電源スイッチは ON になっていますか ●TV カメラからの映像信号は入力されていますか ●モニターに映像出力が正しく接続されていますか
映像にノイズが出る	●TV カメラの同軸ケーブルは正しく接続されていますか ●TV カメラの同軸ケーブルの近くに電源線がありませんか
リモートおよびアラーム入力が正常に動作しない	●ケーブルの配線は正しく接続されていますか ●配線ケーブルにノイズがのっていませんか ●スイッチ、リレー接点に 0.01～0.1 μ F のセラミック コンデンサを取り付けてありますか

修理を依頼されるときは

●本機が正常に動作しないときは、次の操作をおこなってください。それでもなお異常のあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- ・デフォルト セットして各設定値を工場出荷時設定に戻し、動作をご確認ください。
- ・「安全上のご注意」「故障かなと思う前に…」をもう一度ご覧いただき、環境・動作をご確認ください。

●修理をお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名 : マトリックス スイッチャ MSW-3216A
症状 : 設置状態を含めできるだけ詳細にお知らせください。

品質保証規定

取扱説明書の注意事項に従った使用状態で、ご使用中に発生した故障については、お買い上げの日より 1 年間、無償にて修理させていただきます。

※保証期間内であっても、下記の場合有償となる場合がございます。

- ①お買い上げの年月日、および販売店について証明となるものをご提示いただけない場合。
- ②ご使用上の誤り、他の機器から受けた障害、または不当な修理や改造による故障および損傷。
- ③お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
- ④火災、地震、水害、落雷、その他天変地異のほか、公害、塩害、異常電圧などが原因となって発生した故障および損傷。
- ⑤故障の原因が本機以外にあり、本機に改善を要する場合。
- ⑥付属品などの消耗品による交換。

おことわり

本機は、その特徴上、犯罪や災害等の監視のためにご使用されるケースが考えられますが、決して犯罪や災害の抑制および防止器ではありません。

また、本機のご使用方法の誤り、不当な修理や改造のほか、誘導雷サージを含む天災などの被害により発生した事故や、人身事故および災害・盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

必要なシステム構成

専用ソフトを動作させるために、お使いのパソコンは次の環境を有している必要があります。

- Microsoft® Windows XP 日本語版,Windows Vista 日本語版,Windows 7 日本語版
- 400KB 以上の空き容量のあるハードディスク
- Ethernet ポートまたは RS-232C ポート(シリアル ポート)
- Microsoft® IME 日本語入力システム

保 証 書			
品名 : MSW-3216A		本体裏シールの SER. No. (製造番号) をご記入ください No. _____	
お客様名 : _____ ご住所 〒 _____ TEL: _____		取扱販売店名・住所・電話番号 _____ _____	
保証期間	お買い上げ日 _____ 年 _____ 月 _____ 日より 1 年間		



発行：2014.11.10